4巻5号

大正十年四月廿七日印刷納本大正七年十二月二十五日第三種郵便物認可
大正十年五月一日發行（毎月一回一日發行）

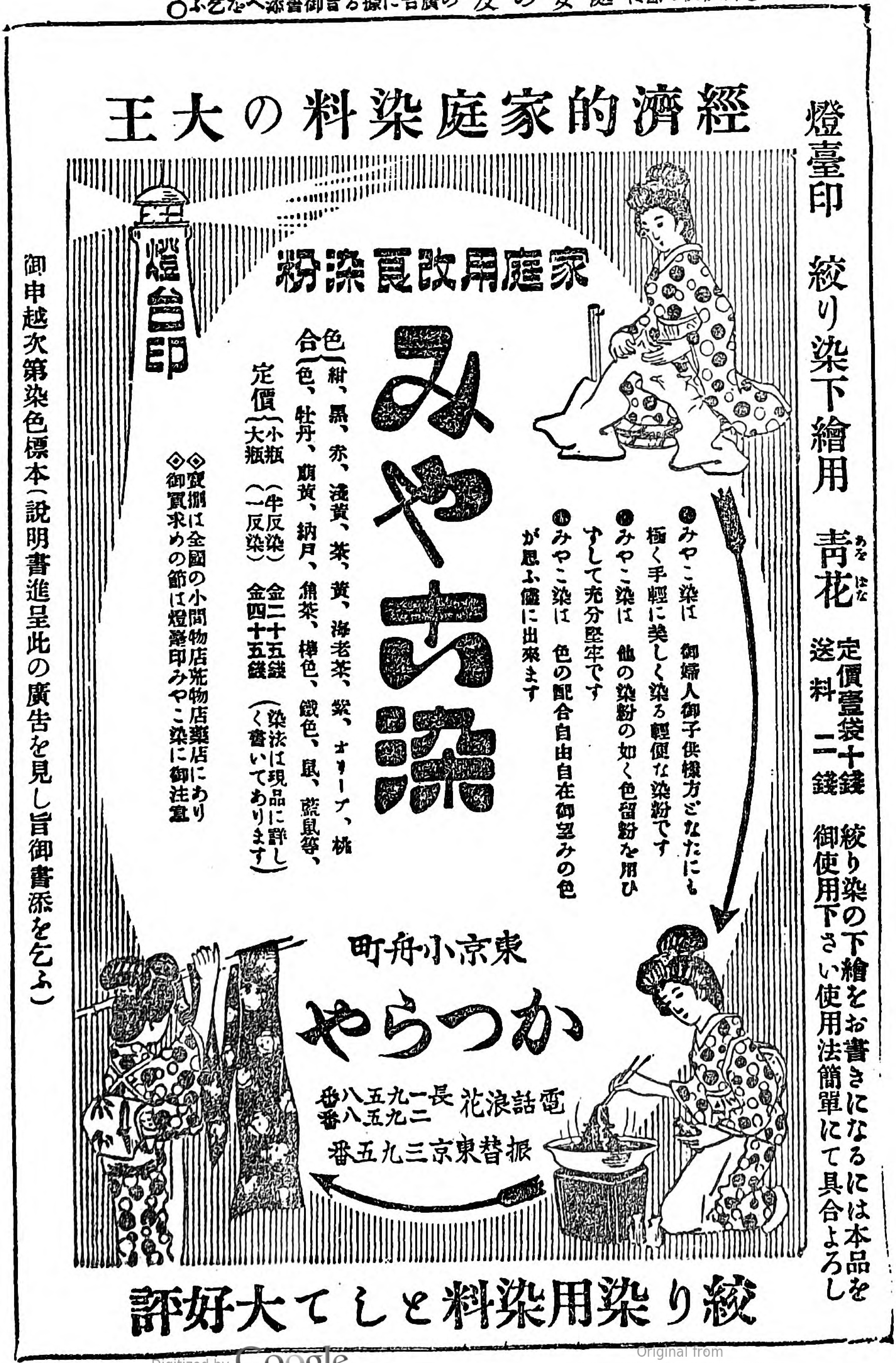
處女の友

第四巻　五月　第五號

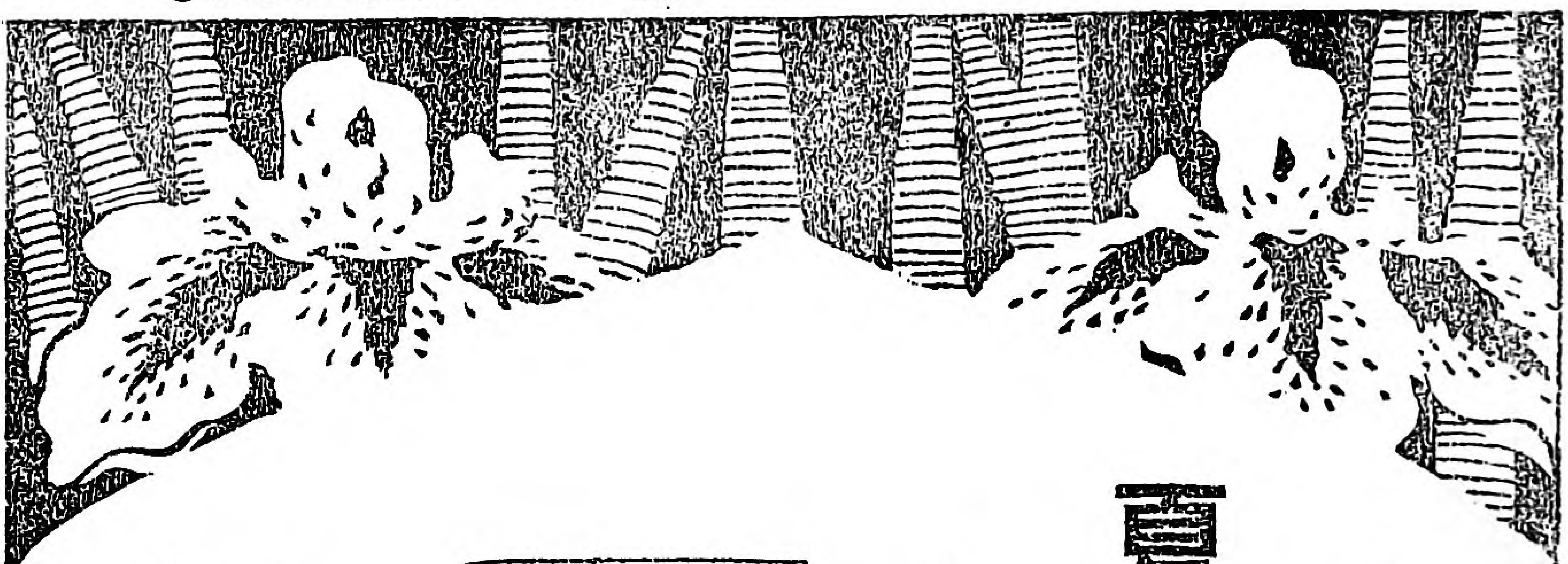
處女會中央部發行

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

○御註文の節は婦女の友の廣告に據る旨御書添へな乞ふ○



○御註文の節は處女の友の廣告に據る旨御書添へ下さい○



◆新意匠書齊用具陳列會　十六日より

夏衣裳大賣出し　五月一日より

◆夏向丸帶、單帶新柄陳列　一日より

◆福岡縣物産陳列會　一日より

◆小糸源太郎氏洋画展覽會　一日より

◆宅野田夫氏支那臺灣寫生画展覽會　八日より

白木屋呉服店

處女の友

五月號目次

大正十年五月一日發行

○表紙　農家の春……田代紫光筆

○口繪　山脇女學校に於ける處女會員／福島縣双葉郡長塚村處女會

◎記事◎

□卷頭（柳と婦人）……一

□女の着物に就いて（社説）……二

□年若き地方の婦人に……理事　山脇房子……五

□働いて貯へよ……爲替貯金局長　天岡直嘉……七

□處女會幹部養成に就て……文部省囑託　山本瀧之助……九

□噂とりぐのお嫁さん……理事　田所楠猪……一三

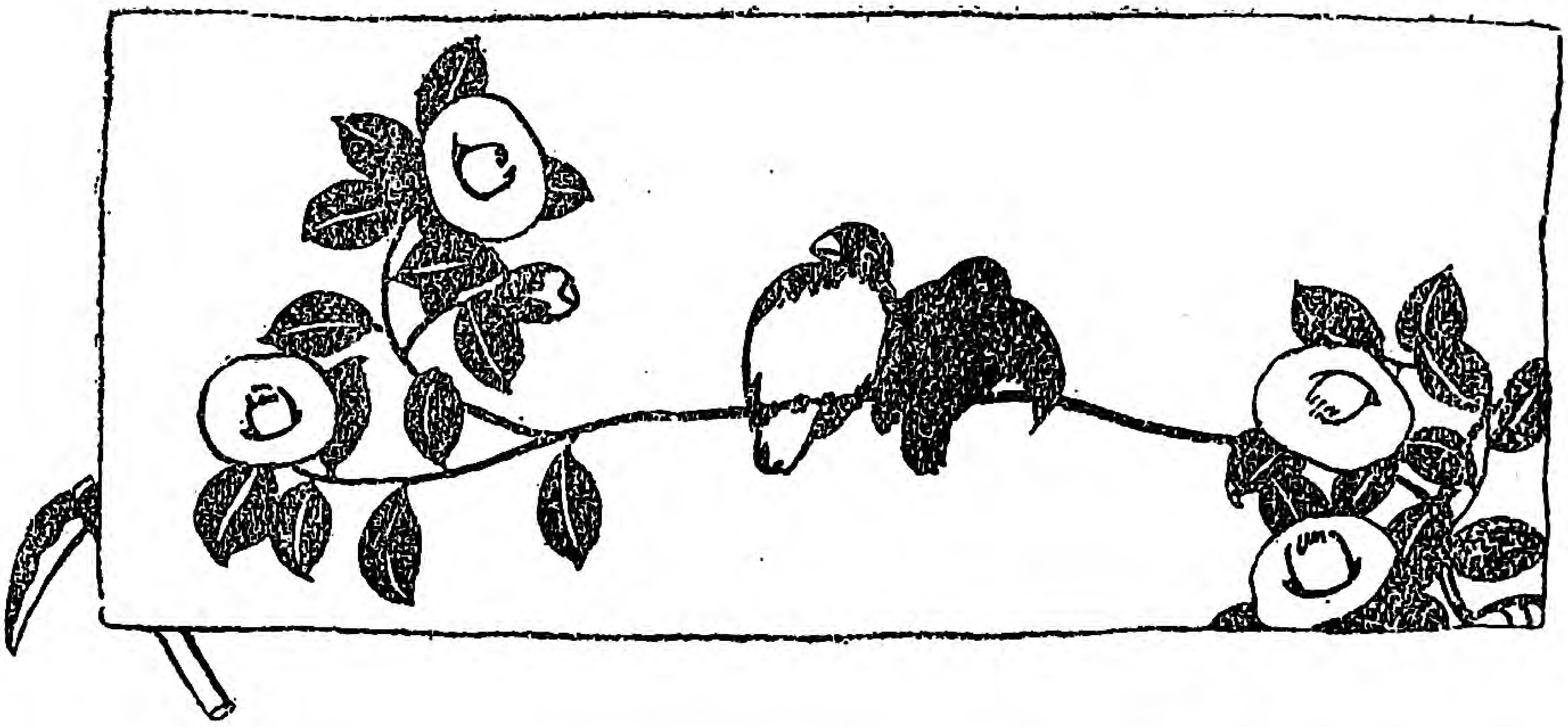
□婦人の行くべき道……遠藤早泉……一五

□人間は何の爲に生れて來たか……理事　天野藤男……一七

□花とりごり……二三

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN



□一寸した事で……二五
□煙火を合圖に處女會發會式……二七
□奥羽線赤湯より……二八
□小手指處女會案内記……天野清子……二九
□處女の友愛讀者大會……三一
□南と北の病める友に……松崎ひろの……三三
□峠のわかれ（小品）……白雲……三六
□世界の驚異ヘレン、ケラー……深綠……三九
□臺所から……三九
□地方通信……四三
□工夫文發表……四六
□懸賞募集……四六
□處女文壇……四七
□處女歌壇……四八
□處女俳壇……五〇
□中央部より……五〇
□誌友くらぶ……五一
□考へ物……五七
□編輯だより……五七

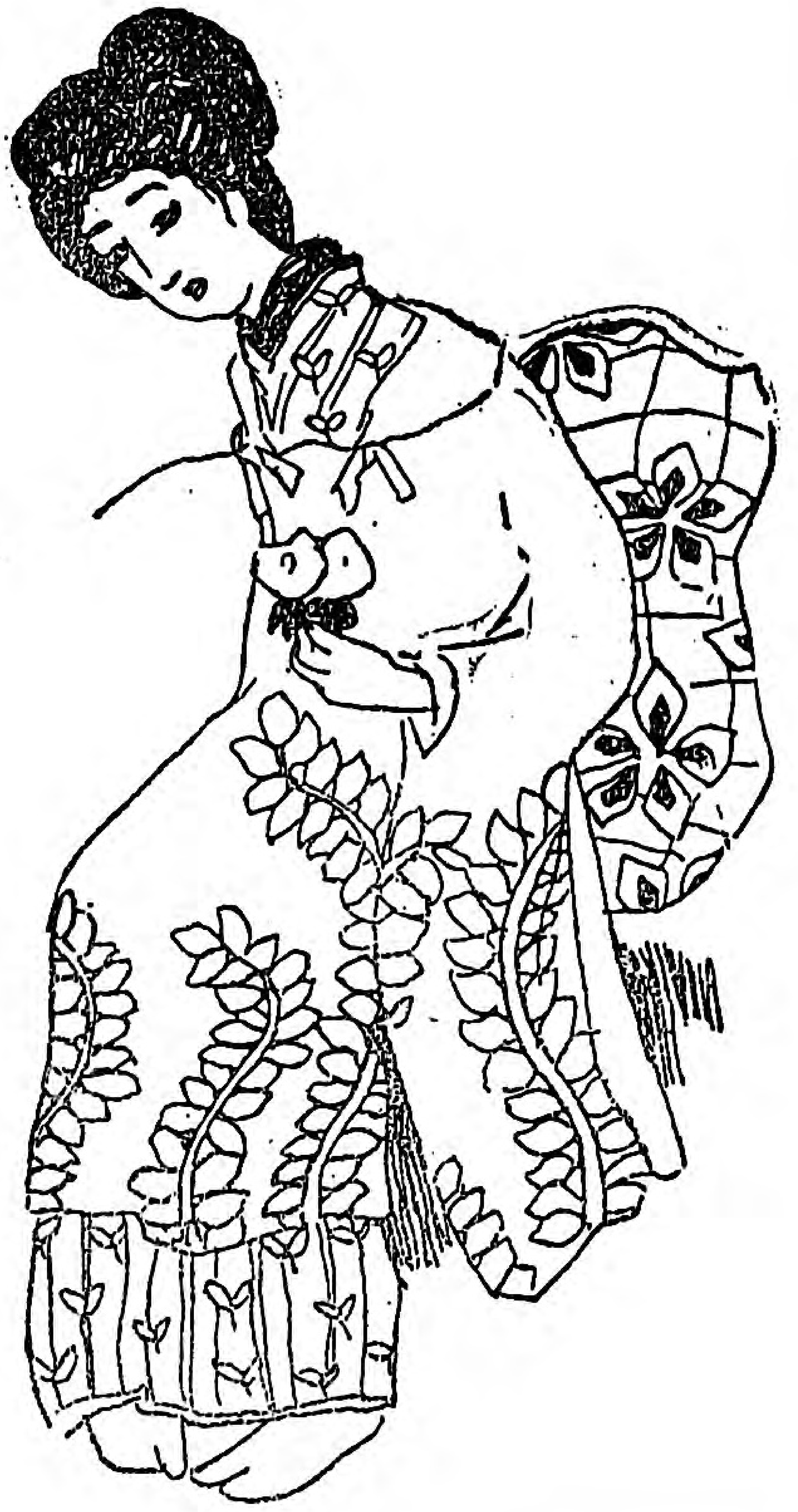
Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

色も香も

タップリな處女時代
その時代の美しい
色艶を永く保つ
キメ細かに色白くなる―

ホーカー液

―日ヤケは肌アレの因
その日ヤケを防ぐには
ホーカー液が一番です



小　二十八錢
中　五十八錢
大　一圓十五錢

これから、節向の
スッキリした薄化粧に

ホーカーパット　一瓶　三十五錢

ホーカー化粧品本舗
東京神田　堀越嘉太郎商店
電話神田　一四三　一四四
振替東京　一三五　一五六

山脇女學校に於ける小手指村處女會員

埼玉縣入間郡小手指村處女會員百十餘人が去る三月十五日明治神宮參拜を兼れて東京市の見學旅行に來られ乃木邸を參觀して今山脇高等女學校長本會理事山脇房子女史から學校でお話を伺つてゐる所でございます。校長の右が處女の友記者松崎ひろの氏その横に立つて居られるのが山脇女學校の塗師谷教頭であります。（記事を見ること）

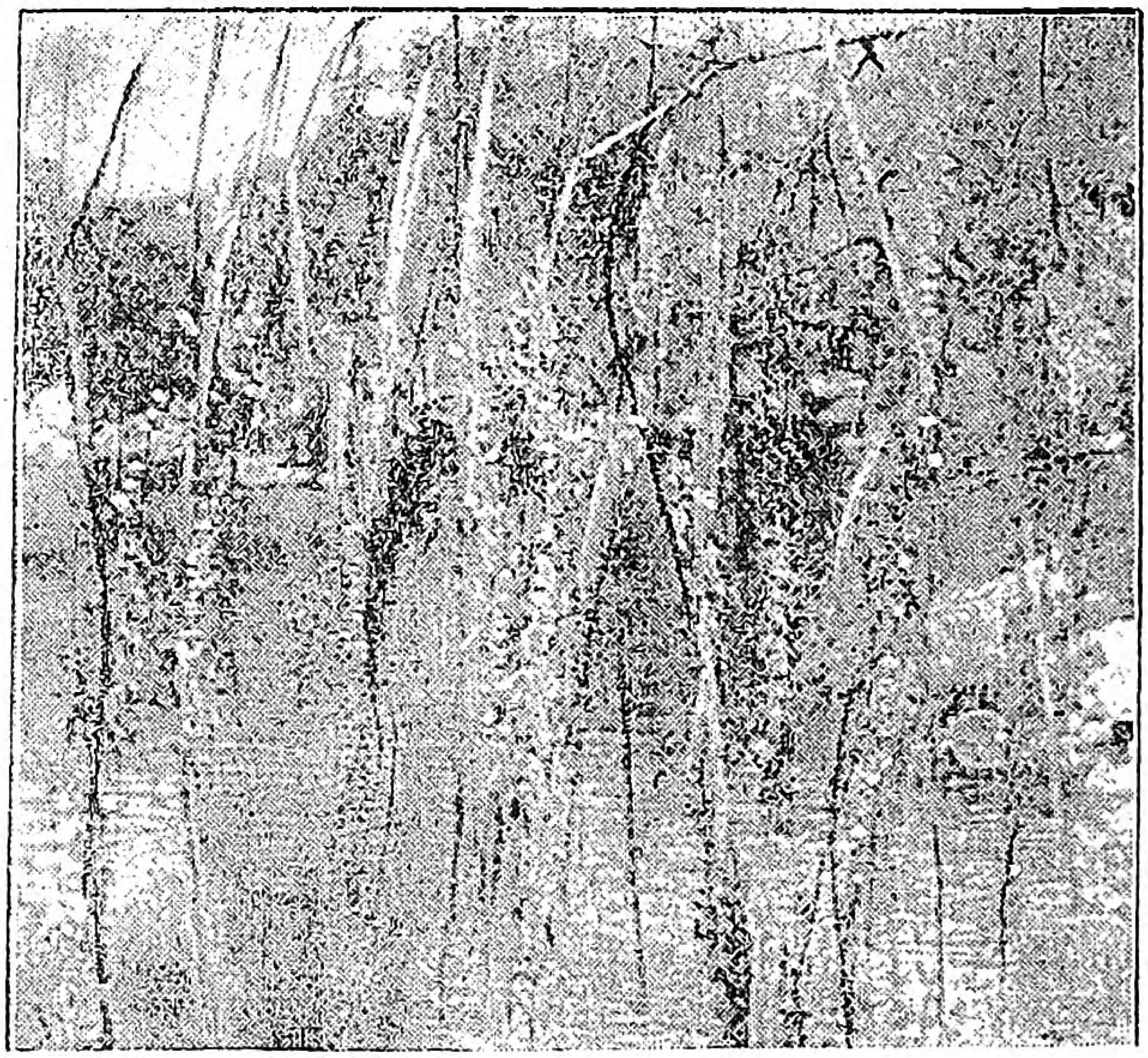
Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

福島縣双葉郡長塚村處女會と敬老會

長塚村處女會は縣下でも優良な處女會であります、寫眞は七十一歲以上の高齡者を招待して敬老會を催した時の記念で二列向つて右より七人目林總理、吉田郡視學、大谷會長です、當日處女はお米を一升づゝ持參して老人にお晝のごはんを御馳走したさうです。此處の處女會員は全部「處女の友」の愛讀者です。（記事を見ること）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

處女の友
五月號



だどうなりとなれと柳に出られては
氣を春風の勢もなし
（蜀山人）

柳と婦人

なよ〳〵とした柳の若枝から新芽がスイ〳〵と芽を吹き、其が春風にゆれてゐるところは、いかにもいゝ柳といふと、

むつとして歸れば門の柳かな

を思ひ出します。柳は柔順な婦人です、氣の練れた、すなほな、しとやかな、しかも内に凛として犯すべからざる強さを持つた婦人です。

氣に入らぬ風もあらうに柳かな
どちからの風にも靡く柳かな
風の吹く方をうしろの柳かな
何事も風にまかすや糸柳
堪忍の柳は人の手本かな
しだるゝは人に教への柳かな
姑の氣に入る人は柳かな

此外柳の枝に雪折れなしとか、ひとかゝへあれど柳は柳かな、などゝみな婦女子の修養の栞草になつてゐます。

女子の權利が高まつて來ても、婦人に參政權が得られても、どこまでも、やさしさと、しとやかさは、女子の生命としたいと思ひます。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

社說

女の着物について

□着物は何の爲

着物はもと寒さ暑さを調節して愉快に仕事するのを本義として作られたものでありますが、然し人は美を好むが人情ですから或程度まで美觀といふことにも心を須ひるようになりました。つまりその人の品位を保つ程度に於て、色合や模樣のある地質をも須ひ、又之に附帶して相當の飾りつけも致します。殊に婦人はもと美の權化とも言はれて居りますから、この衣裳については、相當に心を勞されることは尤の次第であります、花でも色香の美しいのがもてはやされます。まづ黑な花なんぞありませぬ。私どもは如何に處女會の重の目的が儉約に存するといつても、赤い着物をつけてはならん、縞模樣は無用だといふやうなことは申しません。

□大きな矛盾

たゞ心せねばならぬことは、肝心の(一)身體の保護と活動及び(二)人として、女としての品位といふ根本眼目を忘れて、いつの間にか、「衣裳の爲の衣裳」となるの弊です。所が、この根本精神を忘れて、枝葉の爲に煩悶する婦人殊に處女たちが案外多いのです。

即ちわかり易く言へば、「誰それがあんな着物を着たから私も」とか「私はいつも此着物だから」といつて身分不相應のものを親にねだる娘が少くありません。自分の目を喜ばせるならまだしもですが、人の

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

目を標準にして衣裳を飾るといふのは、何んといふ馬鹿げたことでせう。ある地方處女會は、着物を質素に仕合ふことを一つの目的として發會されましたが、段々やつてゐる中、會員が衣裳の品評會を始め、とう／＼出席者がなくなつて、會は休會になつたといふことであります。衣裳をヂミにする爲の處女會が、衣裳の爲に仆れるといふことは大矛盾ではありませんか。

□衣裳より心

近ごろの處女會はこんなことはありますまいが、然し地方に參りますと、幾分まだ着物を苦に疾んで出席もわるい地方があるやうです。關西のある處女會の總會に參りますと、一向出席者がありません。會長にどういふわけかときゝますと、會長は頭を掻きながら『けふ寫眞をとると申しましたから其で着物が心配になつたでせう』とのことでした。寫眞を取るに何のそんなに美服が入りますものか。大雪の日でもあるならば、たくさん着る必要もありませうが、ふだんの日に取るのならふだんのまゝがいゝです。

けれど又翻つて考へてみますと、是は世間や皆さん自身もよくないのです。いろ／＼の會合にゆきましても、すぐ着物の品定めを始めます。女は外のことには案外氣がつきませんが、誰の着物は洗ひ返しだとか、姉さんの古るだとか、ソンナどうでもいゝことには、氣がつきます。そしていゝ着物を着た人の周圍をとり圍んで、チヤホヤ致します。其てます／＼增長します。

仍で私共は妙案を考へ出しました。其は、是から處女會杯に、あまり美しすぎる着物を自慢相に着飾つた女が來ましたならば、誰も相手にしない樣にすることとです。只橫目でチラと眺めて置けばよいのです。其と反對に處女らしい質素の着物をした人の方へは大勢集つてお話しをするのです。さうすると、もと／＼人に見せたいが爲に着て來たのですから、腹を立てます、けれどもみんなほめてくれないのでもうその娘はよい着物を着ません。會長から銘仙を着るな、何をするなと云はれて、已むを得ず儉約

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

のなりをするやうでは、ほんとうでありませぬ。自身が自覺して粗衣に安んずるようにせねばほんとうでありませぬ。着物を飾るよりも心です。

□一千五百圓の帶

東京の虚榮の奥さんにこういふお話しがあります。白木屋の店頭を通りますと一千五百圓といふ帶が陳列してあつた相です。其は、元値が千三百圓ですけれど、看牌ですから賣らぬつもりでわざと千五百圓といふ正札をつけて置いたのです、其を奥さん是非に賣つてくれとせがみます、店員は賣らぬと申します、どうしても賣つてくれと申します。よう〳〵千五百圓で此帶はお目出度い奥さんの手に渡りました。

奥さんさあ大得意でこの帶をしめて大勢の人をアッと言はせようと、ある日〇〇婦人會に出ました。すると、どうしたものか一人もこの奥さんの帶に目をつけてくれません。一人位「あら奥さんいゝ帶ですこと、三越？白木？』といつて氣がつき出してくれさうなものと、アチコチ用もないのにあるき廻りましたが、一人も問題にしてくれません。奥さん腹が立つて、一策を案じて、矢庭に「アッお腹がいたいと、叫んで仆れました。こんどは大勢驅けつけ、口々に、「どうなすつた」「どこがいたみます」「この帶のあたりがいたみます」「さうですか、ぢや早く帶をとつておしまひなさい、邪魔ですもの」といつて大事なく〳〵帶をグン〳〵とつて

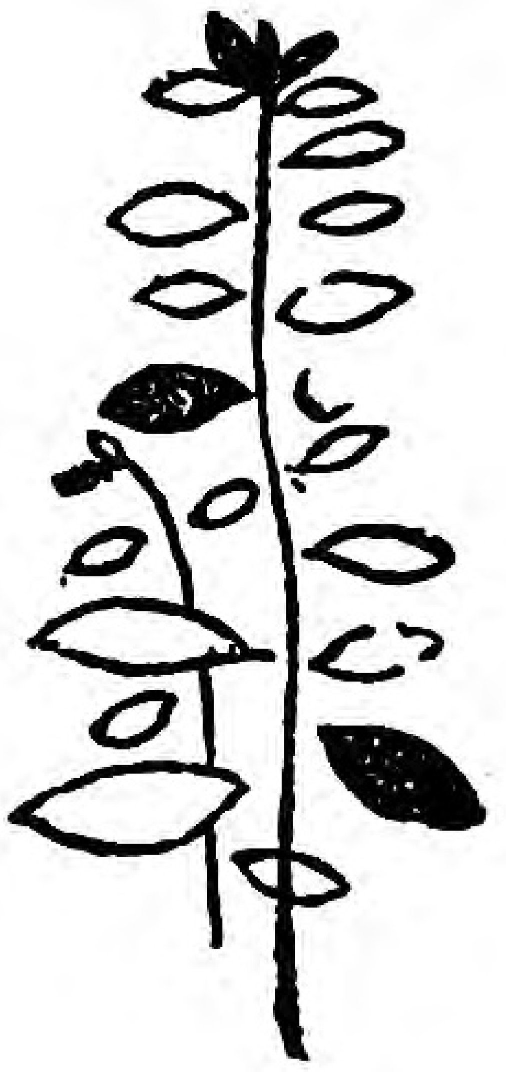
「さあ奥さん、どの邊ですか、この邊ですか」

「とにかくお醫者樣をよびませう」お醫者さんときいて奥さんほんとうに青くなり

「もうよくなりました、急に差し込みが來ましてすみませんでした」

といつて、力なく起き上り、千五百圓の帶をしめて、すご〳〵と家に歸つたと申すことであります。皆さんこの奥さんが病氣といつたのは、大ウソです、然し私に言はせますと、この奥さんには、虚榮心といふお醫者で治らぬ恐ろしい病氣があるのです。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN



年若き地方の婦人に

本會理事　山脇房子

▲運命に從って働く幸福

一莖の草が生へますにも、一輪の花が咲きますのにも、皆夫々意義のある事て、私共が人と生れその同じ人と生れた中ても、都會に生るゝもあり、田舍に生るゝもあり、それ〴〵に違つた境遇に、生ひ立つといふ事に、其處に深い深い因縁のある事のやうに思はれます。

私共は何故人と生れたのてあらう、何のために生きて居るのてあらうかといふ事が始終胸に浮びます、とりわけ年若い方々は、かういふことを朝夕に考へられ自分の行くべき道、自分のなすべき仕事に就て隨分深い思ひをまわし、これがためにさま〴〵の煩悶も惱みも湧いてくる事と思ひます。皆さんの多くは農家に生れ農家に育ち、農村を自分の天地と思ひ、農業を自分の天職と覺つて、日々野に働かるゝといふ事は、誠に貴い事であります。自分の村を愛し、自分の家を思ふ心で、その運命に從つて働くといふ事は、ツマリ天の配劑に從ふといふ事て、心の平和、身の幸福は、この運命のまゝに從つて働く上にこそ、豐けく與へらるゝ事と存じます。

野の土に適した植物を山に植ゑ、山の植物を野に持つて來て育てやうとしますと、ある一部の例外を除く外、到底好い結果を見る事の出來ない事は、皆さんの方が委しく御存じの事と思ひます。

都の花にも野の草にも、自然の惠みは、公平に授けられて居りますのに、その自然より與へられた運命に逆らつて、不自然な道に進んだ者が、幸福を失ふのは

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

誠に尤もな事と思ひます。野には野の幸があり、都には都の喜びがあると同時に、表面美しく綺麗に見ゆる都會にも、やはり悲しい事が潜みます、その裏面は、田舍の人の想像も及ばぬ程多うございます。

▲堅實な第二の國民の母

唯一途に都會はよい所、都會の人は皆幸福であると思ひつめて、都に憧れて確乎した目的もなしに、住みなれた故鄕を離れて、遂に何一つなし得ない中に知らず〳〵善くない方に引入られて一歩一歩墮落して行く人が少くないのは遺憾な事でありますから皆さんのやうな若い方々は、特に考へて頂かなければならぬ事と存じます。英國でも文明の進むにつれ、工業が盛んになり、段々と地方の人が都會に集つて、其ために農村は日に日に衰へて行く有樣となつて居ましたのを今度の大戰に其事が發見され、これでは大變だといふので俄に其回復方法を構じ出しました。近頃我國でも農村の若い男女が都會へ都會へと皆引つけらるゝ傾きのあるのは、國家の前途のため非常に憂ふべき問題であります。

殊に我國は農業國で、米は日本人にとつて、一日もなくてならぬものでありますが、その米を作るべき農村が衰へましては、日本國民の將來は大變な難儀に出遇ふ事と思ひます。この何より大切な農村盛衰の問題に大きな責任のある皆さんは、充分の覺悟を以て家業に勵まれ村の富を增し、賢實な第二の國民の母たるべき修養に務められたなれば、家の富、村の榮えを增すばかりでなく、國家の繁榮にも益する所が多からうと思ひます。

皆さんが眞劍に國家といふ事を考へられ、自分は單に一家の娘、一家の妻一家の母であると思ふばかりでなく、國家の娘國家の妻國家の母とならねばならぬといふ自覺を以て働かれましたなれば、働く中にも言ひ知れぬ樂しみが湧いて來て、心の富、身の幸は皆樣の上に溢るゝであらうと思ひます。

× × × ×

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

働いて貯へよ

爲替貯金局長
本會評議員　天岡直嘉

回今といふ時を捕へて

如何に幸福に充ちて居さうでも未來の事はたのまれぬ、死んだ過去は過去として葬つたがよい、働け――只活ける現在に働け、内に淸き心もて、上に神も戴きて、

これは英國のロングフエーローといふ詩人が現在の一刻に於て力の限り働くことが、人間の最も大切な事であるといふ意味を、麗はしい言葉で言ひ表はしたものであります、

我々の生活は刹那、刹那、刹那の連續でありますから、今といふ時を捕へて、出來る限り働きましたなれば、どんなに私共の生活は美しい事でありませう。

皆さんはあの電車線路や、鐵道線路に働く工夫を見かけらるゝ事でせうが、彼の人たちは本當に、一瞬時をつかまへて、自分の務を果してゐるのであります若しあの人たちが自分の仕事をして居る後から、又は脇から電車が來はしまいか、汽車が來はしまいかと、それぱかりを氣に掛けてゐましたなら、決して自分の務を果すことは出來ません、私共人間の仕事を考へて見ましても、丁度彼の工夫の仕事と同じやうに、一刻一刻を惜しんで、自分の仕事をしなければならぬと思ひます。卽ち「時は金なり」との金言と同じ敎訓を、線路に働く工夫が示してくれるとも考へらるゝのであります。

何事にも所謂潮時といふものがありますから、此機を逃さぬ樣に心掛けて居れば、容易く希望を達し、成功の道を開く事が出來ませう。老いたるも若きも、唯

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

徒らに、心を焦るのみで、逆行逆轉の苦しみを自ら演じて、遂に得る所なくして、不平不滿を殘すとは誠に愚かしい事です、平常から、勉め勵んで焦らずあはてず、時の來るを待つて居ますれば、必ず幸福は自然に與へらるゝと思ひます。

回活動せんかための貯蓄

近頃「自己尊重」といふ言葉が大分やかましく唱へられてゐますが、自己尊重の第一歩は、やはり獨立自營といふ事から始まらなければなりません、他人を頼りにするやうでは、如何に自己尊重を唱へたとても空威張りに過ぎません。

此點から言つて、貯蓄といふ事は、自分がしやうといふ氣にならなければ、決して出來るものでなく、言ひかへれば貯金は實に自己人格の現れであります。勿論世の中には不幸に不幸を生んで、慈善とか救濟とかいふ事も、必要な場合もありますが、社會になるべくこんな者がないやうにするのは、お互ひの義務であります。

恆産有つて、恆心ありといふ言葉もあります通り、普通恆産と恆心とは、必ず並び立つものであります。他人に頼らず自ら勤儉貯蓄して、後の心配のないやうにして、其上で全力を盡して、活動するのが、眞の文明國人のとるべき道ではありますまいか。

から申したとて、貯蓄するばかりが最後の目的ではなく、貯蓄する目的は更に一段と大きく働かうとするのにあります。其の社會のために大いに活動する基となるのが、貯蓄なのです。つまり活動するために、貯蓄するのであつて、金錢の奴隷になるために貯蓄するといふ事は卑しむべき事であります。

大いに貯へて、大いに活用するといふ心掛を、皆さんがお守りになれば、ほんとに國家のためにも、よろこぶべき事であります。

尙斷つて置きますが、貯蓄は決して、郵便貯金に限つたものでないといふ事であります。自分自分の考へで、信用組合や、銀行に貯金するのも結構です、又公債などの募集に應じて置く事も、一種の方法でありませう、兎に角貯金は側から命ずべきものでなくて、自分の意志に從つてすべきものであります。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

處女會の幹部養成に就て

文部省囑託　山本瀧之助

一

先づ『幹部』の何たる物かを申し述べて見たい。世間には往々にして幹部と『指導者』とを混同してゐる向きがある。幹部講習會と看板を掲げられてゐるに拘はらず、其の集まつてゐる方々は指導者であつて見たり、又指導者講習會と銘打つてあるに拘はらず、其の會員は其の實幹部であつて見たりするなどの事は、間々見受られる所である。併し、幹部は幹部であつて指導者ではない。指導者は又指導者であつて決して幹部ではない。

二

之を例へて云へば、指導者は將校であつて幹部は下士である。指導者と幹部との相違は將校と下士との相違てある。軍隊には上に將校があつて下に兵卒がゐる。而して其の中間に下士がゐる、下士即ち軍隊の幹部である。全體、幹部の幹といふ文字は、樹木の幹といふ文字である。幹は上に枝葉がある。下に根株がある。枝葉と根株とは樹木の將校と兵卒とであつて、幹是れ樹木の下士であつて所謂幹部である、云ふまでもなく、此の幹部なるものは獨り軍隊や樹木や處女會にばかり之れあるものではなうて、一家の内にも、一町村の内にも、一學校の内にも、乃至は一身の内にも必らずや之れ無かる可からざる所のものである。一身内の將校は腦髓である。而して其の兵卒は四肢五官である。此の腦髓と四肢五官との中間に位してゐる所の彼の神經これが即ち一身に於ける下士であり幹部なのである。

三

處女會に於ける校長村長等の先輩は、全く處女會の將校である指導者である。而して一般會員は云ふまでもなく處女會の兵卒である。此の指導者と此の此の會員との中間に立つてゐる所の幹事とか世話人とか稱せられてゐる彼の役員なるもの、これが即ち下士であつて、謂ふ所の處女會の幹部なのである。

四

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

幹部の役目の如何に大切であるかに就いて申し述べて見たい、下士は普通に軍隊の支柱であると稱せられてゐる、樹木は幹に依つて其の體を保つてゐる。將校も大切であるけれど、下士は實に大切である。下士の任務は一口に云へば、上意下達と下情上達とである。將校は知識である。畢竟は號令である。號令は聲である。聲だけでは一般階級たる兵卒は動かぬ。知識を意志に現はし、聲を實にして之れを具體化する所の下士なるものがゐて、ソレで初めて一般者は率ゐられるのである。折角の將校の知識を役立たせるものは下士である。將校は又常に營外に宿泊する。下士は常に兵卒と同じ釜の飯を食ひ、同じ床の中に寢る、上將校と下兵卒とか動々もすれば各々階級をなして相疎隔しようとするをば、其の中に下士なるものがゐて、初めて之れを上下一味になし得るのである。將校は又此の下士の下情上達に依つて初めて適切な號令をも下し得るのである。樹木の幹は、上の葉が同化作用で得た養分をば靭皮部を通じて下の根に傳達する。即ち上意下達である。又下の根から取り入れた養分をば其の木質部を通じて上の枝葉に輸送する。即ち下情上達である。凡そ幹部と稱せられる所のものゝ役目は皆同一である

五

指導者は畢竟「ア、せよ」「斯うしたらよからう」と口で云ふに過ぎぬ。高い所から號令を下すに過ぎぬ。それをば會員中の一步半步先んじてゐる所の主なるものが、即ち役員が、幹部が先づ身に體することに依つて、それが初めて處女會全體を動す緒となるのである。指導者を會員と一々接觸を保つといふワケに行かぬ。唯始終幹部と相交通することに依つて初めて個性を視察し得て、遺算のない作戰計畫を立て得るのである。

六

斯程大切な幹部は平素打ち捨てゝ置いて自然に手に入るものではない。それ故軍隊では、色々に工夫を凝らして下士養成に勉められてある。軍隊では毎年十二月新に澤山入營して來たものゝ中から、先づ上等兵の候補者なるものを選み出す、所が處女會の幹部養成に就いて、丁度軍隊の十二月、軍隊の上等兵候補者選定によく似てゐるのは、毎年四月小學校を卒へて世の中に入り來るものゝ中に於いて、先づ優良兒童たりし者に着眼することである。いづれの地方、いづれの小學校でも、毎年一學校に二人や三人の優良兒童がゐ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

るものである。

而して此の優良兒童なるものが、二人が二人、三人が三人揃ふて中等教育に就き得るとは決して云へぬ。曾て鹿兒島縣で調査されたものを見ると、大正六、七兩年度中に於て、成績最も優良と認められて小學校を卒業したもので、進んで中等教育に就いてゐないものが男女で七百一人(大正八年五月調査)而かも其の中には首席で卒業したものが二百三十九人ゐるとのことである。これは他の府縣とても大同小異であらうと思へる此の中等教育に就かないで、そのまゝ家に在る所の優良兒童の後始末は、實に社會國家の小さからぬ問題であつて、私は此の問題を懷にして、今日迄に自分で親しく三府十七縣に就いて、當局者の意見も聞き、又自身の些やかな考へも話してゐるのであるが如何に之を始末すべきかは實に大問題である。

優良兒童は既に上等兵候補者の素地を有してゐるのでであるから、何等かの手を加へたならば、此の中から眞の下士的人物地方的人材が得られるてあらうとは誰れも容易に氣付く所である。優良兒童の後始末が下士養成の一途ばかりでないは云ふまでもないが、我が處女會の眞の發達を念ふ時、誰れも先づ其の幹部の大切なるに氣付かずにはゐられないのであつて、それには先づ優良兒童であつた所の是等の女兒に着眼して、是等のものをば上等兵候補者として取り入れて聊かたりとも之れに對して幹部的教育の心持なりとも施して見たいものと思はれるであらう、如何にして其の之れを施すべきかは、更めて考て見たい。

蒙御免

勿見落。飲み黨 飲まぬ黨 大角力番附

飲まぬ黨

横綱	國家繁榮
大關	貯金増殖
關脇	家庭圓滿
小結	子孫繁昌
前頭	無病息災
同	立身榮達
同	時間經濟
同	能率増進
同	友情和親
同	學業優秀

行司(イロハ順)

佛教 基督教 神道 儒教

飲み黨

横綱	國家衰亡
大關	貧乏
關脇	一家斷滅
小結	夫婦離別
前頭	疾病負傷
同	犯罪入獄
同	借金
同	失職失業
同	喧嘩口論
同	墮落自殺

風紀頹廢

▲此外澤山御座候

世話人

全國教育會 全國青年會 全國處女會 全國主婦同一

宣傳元 日本國民禁酒同盟本部 神田區表猿樂町一〇 電神三三五〇

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

噂とりどりのお嫁さん

本會理事　田所楠猪

□

「あのお家の奥樣は、御用きゝに出ても、少しも價格の事に就いて、かれこれ仰有るやうな事はなく、何でも彼でも女中まかせにしてゐらつしやるので、私共としては、こんな商賣のしよいお得意樣はありません」といふ八百屋の話を聞いた事があります。又或時は魚屋が「あのお得意樣に參りますと、何時でもお年寄が出て來られて、このお魚は高いとか、この魚はまづいとか、八釜しく申されます。其處では奥樣からは、少しも文句を言はれた事がありませんのに、お年寄からは、始終お叱言を頂きますのには困ります」といふ話を聞きました。又一方には或八百屋が、あのお宅ては奥樣が始終臺所にお出になつて、一切の御用の品物は女中の手を持たずに自分でなさいます、その細かい所まで氣のつくお指圖ぶりには、私共として誠に商賣が致し憎うございますがよくなにかも御存知の上のことですからこれも致方がありません。」と申しました。かういふとりどり〱の噂を聞きますにつけ、世の中の一端を敎へられたやうにも思はれます。

先づ魚屋から賞められた奥樣は所謂現代の敎育にかぶれた所謂新人の奥樣とでも申ませうか一家の家事に就いて、それほど頓着なされない方であるといふ事が想像されます。又一人の温順しい奥さんは、老人の方が一家の事に權利をもつて居らつしやるのでしやうか嫁はあれどもなきが如く、家事萬端をとりあつかつて居らつしやるのを見ても、姑に屈從して居るお嫁さんて

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

あると想はれませう。最後に八百屋の話にあるやうなお嫁さんは、相當に敎育をうけて、而も一家の經濟と一家の事に就いては自分が矢面に立たなければならぬといふ、確かな信念をもつて居る、勝氣なお嫁さんであると、想像する事が出來ます。

□

今日の如く婦人の覺悟、婦人の勤めに對して、世の中の人々の唱へる問題が非常に八釜しく、銘々に尤もらしい道理を説かるゝ場合に、將來主婦として、妻たり母たるべき大きな任務を負ふ婦人が、どういふ方面に進んだらよいか、又どの道をとつたらよいかといふ判斷を下すには、なか〳〵むづかしい事であります。

然し私はどうしても、最後の八百屋の噂に上つておるお嫁さん、つまり確固たる信念と責任を以て、一家を治めて行くといふお嫁さんを、最も時代に適した婦人と思ふ一人であります。

男子といひ女子といつても、人として學問に於ても能力に於ても優劣のあるべき筈はありません。唯私が申しますのは、男子と女子の天分の相違から判斷しても、男子と同じ仕事を女子にさせやうといふ事に就いて考へなければならぬといふまでゝあります。何千年來傳つて來た、日の出る國のこの美しい家族制度の長所を保持し若くはます〳〵改善して行くといふ事は、大和島根の國民として、ゆるがせに思はれぬ事で、今後益々婦人の敎育を高めると致しましても、もし婦人としての根本問題である處の、一家經營の任務を果すべき鍵を握るべき主婦としての修養を忘れることがありましたなれば、夫れは一歩間違つた方面に走つたことで決して喜ぶべき事であるまいと存じます。

婦人として、その能力といひ、その體格といひ、充分に高等の敎育をうけて、國家のためにも、最も爲めになる方も、無論多くありますが如何せん、我國現在の有樣にては、まだ〳〵其の大多數の婦人の方々は、それまで望む事は、無理であり、又實際望むことの出來ない現況で、一方に特殊の智識ある婦人が向上し發展して行くのに、はるか後の方にとり殘されて居る狀態であります。

恁ういふ有樣でありますから、少數の女子の大學者を出すよりも、寧ろ大多數の一家の主婦たるべき婦人

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

が修養につとめ、其良人に內顧の憂ひのないやうにさせるのが、最大切な事であると思はれます。

今日の處女に對する敎育の方法には或は高等女學校あり、或は實科高等女學校、女子補習學校あり、何れもその志す所によつて、進むべき道は違つて居りまして、何れが大切であると定める事は出來ませんが、一番痛切に其必要を感じますのはどんな境遇にあらうとも、せめて女子の補習學校の門をくゞらぬものは一人もないといふ位にまで致し度いと思ひます。

唯男子と違ひまして、其組織が完全に行はれないとすれば、この及ばない所を補足して行く道として、全國の處女會なるものが其の任務を果す上に最も良い方法だと思ひます。

さればもし處女會なるものが年に一二回の總會を開き或は二三回の集會を開くのを以て滿足するやうな事では、唯處女會なる名稱だけが整ふて、內容に於てはあまりさしたる効績をあぐる事が出來難いことと思ひます。

もとより女學校に行く事も出來ぬ人たちの事ゆゑ、時間の餘裕のない事は無理ない事ですが、處女會員は互に勵み合ひて日々有益に過して修養し、心を練る事を心掛けましたなら、處女會の存在の如何に有難い事であるかゞわかると思ひます。

世の中の人は婦人に對して、あまりに大きく多くの要求を持つてゐます。この無理な注文に對して、一足飛びに滿足を得んとし、又得しめんとするより、大多數の取殘されたる、全國の處女をして、今少しく足並を揃へ、せめて主婦として、世に立つ事の出來る樣に吾れも人も務むることが一層大切の事であつて、其の足元に注意し、其の枝先の處にのみ氣をとられぬやうにすることが、寧ろ今日に於ては大切のことではありますまいか。

中央部撰處女會訓「強く優しくまじめに働け」この會訓は所謂積極的のものでありまして處女會員の金科玉條として服膺すべき言葉と信じてをりますが、又其の反面に消極的なのは

氣に入らぬ風もあらうに柳かな
實る程頭のさがる稲穗かな

假令ひ修むる處の敎育の程度はまち〳〵でありましても、主婦として世に立つ上に於て、尤も大切のことでありますから、處女の方々としても此の敎訓は一刻でも頭の中に入れておかるゝ樣に致したいものです。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

婦人の行くべき道

帝國教育會　遠藤早泉

○歐洲大戰この方、婦人問題が八釜しくなつて參りましたのは、日本許りでなく、世界全體の實際の有樣であります。然し私共として、現在の婦人運動には、まだ〳〵感心出來ない點が少なくないのみか、これから後充分研究して、眞面目で穩健な主張のもとに、婦人に就いて深く考へなければならぬと思ひます。

何事によらず、正しい向上發展をするのには、總て人性自然の道を踏んで行かなければなりません。或場合には無理が通つて道理引込むことがあるとしても、それは特別の場合であつて、決して永く續くものではありません。

いつしか無理が引込んで道理が勝ちを占めるといふ事は分りきつた事實でありまして、不自然な道を歩んで物事が解決の出來るものではありません。

婦人問題にしても其通りで先づ第一に、天地自然の定められた、各自の歩むべき道を考へてから進まなければ到底解決の出來るものではありません。

人生に男と女があるといふ事は、極めて分りきつた事實ですが、何故自然は男と女といふ二つのものを置かれたかといふに、男は男、女は女としてのそれ〳〵の天分を與へて、その適した任務を果せよといふ、神の命令ではありますまいか。

政治經濟、職業等、あらゆる方面に、男女の平等を說く、女權擴張者の理想が實現されましても、男が子を産み、女が父たる自然の道に反く事はとても出來

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

ませんでせう。

これは丁度、犬が屋外にあつて、家を守り猫が屋内にあつて、鼠を防ぐのと同じ事で、男女の分業によつて、文明も今日まで進む事が出來、人口を增して、今日迄子孫を繼續する事も出來たといふわけであります。從來の婦人が家庭のみに立籠つてゐて何等社會上の働きをしなかつたといふのは、一面から見れば男子が生理的に弱い女子を愛護した結果であるとも見られます。寧ろさう見る方が正當で、それが證據には實際賴るべき男子の手を離れた婦人の中には、從來とても充分社會的の貢献をしたものがあつたではありませんか。一體男女は鬪爭すべきものか、協同すべきものかと考へて見ます――否、かうしたことは考へて見るだけの値打も無いものでせう。併しそんな分明な問題を假令チョットでも考へかけるやうになつた世相を私共は嘆きます。我が國の歷史は神代の昔から夫唱婦隨の精神を體現し、さうすることに依つて幸福な家庭生活國民生活を營んで來たのであります。男が外に働き女が内を守つたのはそれが兩性の持つて生れた自然であつてその爲めに男が豪く女が虐げられたといふのではありません。それは恰も鳥が空を飛び魚が水を泳ぐのと同一なのです。經濟的に世智辛くなつた今の世の中では勿論昔の儘の社會生活を營むべきものではありますまい。けれども私共はさうした男女の行くべき道を改善する必要はあつても、斯の道を變換する必要は無いと信じます。即ち男は男の行くべき道、女は女の行くべき道を改善して、其職能をます〳〵忠實に守るのが本當の態度だと信じます。

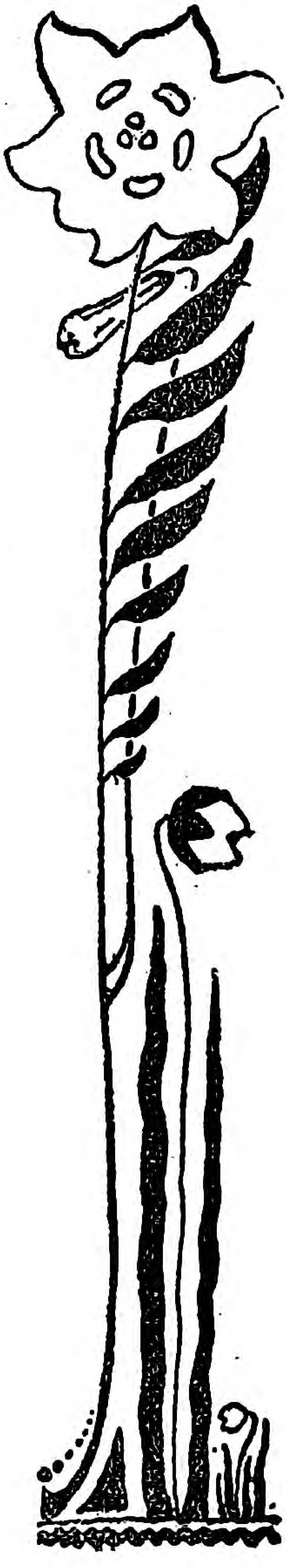
女はお母樣になる事によつて、初めて値打がつき、最も賢くて、最も愛情の深いお母樣である事が婦人として一番貴い事であります。將來の婦人に向つて、唯臺所にばかり引込んで世間を見るなとは申しません、境遇によつては社會の表に立つて、職業のために働かるゝのも結構です。唯々婦人の有する其の平和な愛の精神を以て、殺伐な男性文明を緩和して行くことを忘れて頂き度くないことです。

慈愛に滿ちた母の心を以て、我が子を愛し、家庭を暖かにして、一村一國を美しくし、尙人類の幸福のために、其の手を擴げる事が婦人として、大きな仕事であると思ひます。此點から云へば、將來の社會の幸、不幸は實に婦人の手に握られて居るといふのも決して云ひ過ぎではないと思ひます。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

人間は何の爲に生れて來たか

天野藤男



（一）少くとも青年處女は

『全體人間は何んの爲に生れて來たのでせう。』今回は之に就いて考へてみませう。もう一度繰り返します。

『一體私共は、何の爲に、何をしに、この世に生れ出たのでせう』

すると或人は申しませう。

『人は自分で生れようと力めて生れて出たのではない生み落とされたのだ、たゞ生み落されたのだ、だからそんなにやかましく考へなくてもよい、』

尤だと思ひます。けれど、生み落とされたにしても、現在、この世に生を享けつゝあることは、事實です、生きてゐることは事實です、そんならこう申しませう。

『我々は、生み落とされ、生きてゐる以上何をすべきでせうか、何んの爲に生み落とされたでせうか、』

金平糖をしやぶつて、お猿さんをおんぶしてゐる花ちやん菊ちやんはしばらく措いて、少くとも、將來の

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

ある青年及處女は、かういふ問題についても、よく考へてみる必要があります。

(二) たゞ働く爲でせうか

然しこれは、ずいぶんむづかしい問題で、學者も昔から一心こめて考へましたが、むづかしく考へれば考へる程わからなくなるさうです。けれど私たちは、そんなに研究的に考へずに、たゞの人として、考へてみたいと思ひます。

私共は、小學校の時代に先生から『人間はこの世に生れて來たのは、働く爲である』と敎へられました、小學校時代ばかりでなく生長して、青年となつた今日まで「働く爲に生れて來た」ことを、講演に、書物に幾度聞かされたり、讀んだりしたことでせう。又三度の食事も、つまり働く爲であると、その序に敎へられました。

是は眞理であります、千古動かすべからざる眞理であります。私たちは、大に働かねばなりません、我身の爲に我家の爲に、我里の爲に、御國の爲に、まじめに働かねばなりません。

けれど、皆樣よつく考へて下さい。私共は只働く爲にのみ生れて來たのでせうか。牛や馬のやうに、只働く爲に生れて來たのでせうか。さうではありません。私共は働かねばなりませんが、その働くのは、ある大目的の爲に働くので、只「働く爲に働く」のではありません。こゝをよつく悟つていたゞかねばなりません

其では、働くのは、何の爲でせうか、私は次のように考へます。

(三) 天國をつくる爲に働く

全體人は、この世の中を、住みよい、心地のよい天國とする爲に生れて來たのであると考へます。そして**働くのは、その爲であると考へたいのです**。

人の一番の仕合せは、平和な家庭にあるといふことは、本誌が屢々御話ししたことであります。その爲に私共は、働かねばならぬのです。然し自分の家のみが

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

よく治まり、富み榮え、無病息災であるからとて、隣りに病人があつたり、貧乏人や犯罪人が出來たりしては、安心してゐられません。之と同じように、隣り近所の家が皆圓滿無事であつても、隣りの村、隣りの町に火事があつたり、大水が出たりして、大勢が困つてゐる所をみては、大抵の人は、心配せずにはゐられません。この心を推しひろめてゆきますと、日本國中の人が皆仕合せを得て滿足してゐる樣にならねば、日本人はほんとうの仕合せは味はれぬわけです、けれども今や四海同胞、西洋人も、印度人も皆兄妹です。國と國との別はありますが、人として考へると、一切平等です。してみると、世界中の各國、各民が平和を樂しむようにならねば、人として、ほんとうの仕合せは得られぬといふ譯になります。

私共は、こういふ平和な天國をつくり出す爲に、否、この世界を、天國とする爲に、この世に生れて來たもので、その爲にする仕事が、私共のつとめ、即ちよくいふ使命であるのです。

（四）他人を遊ばせる爲に働く

住みよい、心地のよい家、里、國、世界が出來ましたならば、どんなに人類は仕合でせう。十六億萬人の人が皆兄妹の如く助け合ひ、夫婦の如く信じ合ひ、親子の如く愛し合ひ、其處に何のにくみも、ねたみもない愛の世の中となつたらば、私たちはどんなに樂しいでせう。其はなか／＼むづかしいことです。けれど、出來ないと斷言する譯にはゆきません、さうする爲に私共は生れて來たのですから、出來ないと斷言することは、其丈努力が足りない證據です。『私共の家はとうてい仲よく出來ません』といふ人がありましたならば聞いてゐる人は何んと思ひませう、仲よくするのも、しないのも、めい／＼の心一つにあるのではありませんか。

あゝ愛の家庭より愛の町村より愛の國家より愛の世界へ！。私共はこの大目的の爲にこの世に生れ出で、生み落とされ、又現在生きつゝあるのであります。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

そんならどうすれば、この様な使命が果たされるかと申しますのに、第一に、働くことです。働くことは、時には、苦しいことがあります。遊ぶ方が樂しいものです、是は事實です、けれど、大勢の人を遊ばせる爲に、自分が働くといふことは、たふといことです。之と反對に、自分がなまけて、大勢の人をよけいに働かせることは、よくないことです。去年伊勢の松坂に旅行しました時、停車場にこういふ掲示がありました。

『自己が横着であり、贅澤である爲に、他人が餘分に働かねばならぬようなことをやめること』

是は露西亞のトルストイのいつたことですが誠に尤なことと思ひます

私たちは、大勢の人の手を省く爲に、大勢を遊ばせる爲に、一生けんめいに働きませう

新和歌の浦

人に褒められやうが、見て貰はうがかまふことなしに働きませう。「勞働は神聖なり」とは、この爲であります。めい／＼が、こういふつもりで働きますれば、この世になまける人はなくなる譯で自然と仕事は捗取ります、そして早く仕事を終へて遊ぶやうにしませう。

（五）自分も人も同じ

働く爲に生れたといふことは、言ひ換へれば、この世の中を樂しくする爲に生れたといふことゝ同じです。食べものも、働く爲ですが、根本から言へば、この世の中を仕合せにする爲に食ふのです。何でもこう考へなければなりませぬ。遊ぶのも同樣です、自分が遊んだ方が、大勢の爲になり、大勢の仕合せを増すなら

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

ば遊びなさい。たとへば、お節句には、處女會の運動會を開いて、みんなが、旗送りをするとします。その時「私しはソンなことはいやだ」といつて遊ばぬ處女があらば、世の幸福を思はぬ處女です。泣くのもさうでせう、世の中を仕合せにする爲に泣くのです。笑ふのもさうです、大勢笑つて命の洗濯をしてゐる時に、自分ひとり苦虫を嚙みつぶした様な顔をしてゐますと、外の人が笑ひそこねます。折角壽命を延ばさうと思つてゐるのに、その人の爲に、邪魔されることゝなります。

皆さんの稼ぐのも、修養するのも、洗濯するのも、子守するのも、皆大勢の仕合の爲であります。自分ひとりお金を貯める爲に、着物を買ふ爲に働かうなどはもう古るいことです。又これからは、自分一人いかにお金を貯めても、いかに衣裳持ちになつても、他の人が貧しくては、ほんとうの仕合せは得られません。すべて大勢を標準にして、自分の仕事を考へるべきです自分を愛するのも、大勢の爲に愛する、こうなつてこそ床しいのです。

(六) 猫と人間と

いつも繰り返すことですが私どもは、愛の深い人となりたいものです。凡てを愛し、凡てを容れる廣い愛の人となりたいものです。宗教は愛です。神に近き、佛に近く爲に信仰するのです。凡そ人この世に生れ、愛のない人はありません。親が子を愛し、子が親を愛し、弟が兄を愛し、兄が弟を愛する、是れ皆人情です然しよく世の中を見渡しますに、愛に不公平のある人が少くありません。偏頗の愛、身びいきの愛は、避けねばなりません。たとへば、我兒を愛するのは共通の人情、どんな醜い子でもわが子は可愛ゆい。けれども世間には、自分の子ばかり可愛がつて、よその子は、そんなに可愛がらぬ人があります。自分の子ばかり可愛がるならば、猫をごらんなさい。人間以上に可愛がります。けれども、となりの猫の子を愛したといふ猫をみたことがありません。三毛ちやんが死んだから、お氣の毒だといひ、近所の猫が香奠をもつていつたと

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

いふ話しをきゝません。クロちゃんが赤ちゃんを産んだからお祝ひにゆかうといふ猫もありません。つまり同情といふ心がないのです。人にはこの同情思ひやりの心があります、之が人と毛物と異つてゐるところであります。さて同情の心は、いくら使つても減りません。人に、物に、注げば注ぐほどあとから湧き出てます。泣いて涙の減つたといふ人はありますまい。私共は思ひやりの深い人にならねばなりません。てんでが人を思ひやれば、自分も思はれます。世の中はもちつもたれつです。人間僅か五十年、七十年は稀といふ。生きてゐる中に、大勢を愛し、大勢を思ひやれば、何も死ぬ間ぎわに、念佛唱へなくてもいゝです。

(七) 世進んで天國遠し

こういふ氣持てみんなが生涯働いて務めてごらんなさい。私たちの世の中は、段々住みよい氣持のよい天國となります。人の命は短いから、或は生きてゐる中に、この天國を見ることが出來ないかもしれません然しその人は生きてゐる中に大勢の幸福を圖つたのであるから、次の時代は、その人が働いた丈世の中がよくなつてゐる筈であります。百人、百千、萬人がかういふ氣持て働いて死ねば、子や孫の代になればなるほど、世の中は住みよく、暮らしよくなる筈です。かうしてゐる中に、きつと天國が出來ます。百年後でも、千年後でもいゝ。さういふ時代をつくらねばいけません。

然るに、汽車が出來、汽船が出來、飛行機が出來、電氣が出來、瓦斯がとぼる樣に、段々世の中が開けて來ても、汽船を食べたり、砂利を食べたり、瓦斯を吸つたりする樣な人がふえるようでは文明開化は何んの役にも立ちませぬ。否文明開化でなく、世の中の退歩であります。文明の進歩と人心の向上とは、兩々伴つてゆかねばなりません。文明の機關が惡用され、人心が日に月に荒んでゆく樣ては、心細くなります。せめて是からの若い青年男女は、眞劍になつて、社會の美化に務めなければなりません、私は結論を述べます。

私共は、住みよい心地のよい國家社會をつくる爲に人一倍汗を出して働き、涙を流して苦しまねばなりません、之が爲に私共はこの世の中に生れて來たのであります。めい／＼がこういふ心掛になれば、早くこの世が天國となります。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

花とりぐ

薔薇

薔薇は英吉利の國華であります。純潔て情愛に厚い英人の氣質がよくこの花に現はれて居ります。

この花はもと白かつたのでありますが或時雲の上でいろ／＼の神樣が宴會を催された際に、キユーピットといふ愛の神が誤つて神酒の壺を覆へされました。すると其の雫が下界の薔薇に滴つてまたゝくまに花の色が赤くなつたのであると申します。桃色のも白薔薇もありますが、眞赤の花が一番多うございます。

髮あげて挿さんと言ひし白薔薇も
　殘らず散りぬ病める枕に

ふとした病氣で床についてけふは三日、妹が枕許に活けてくれた薔薇の花、早く快くなつて挿さうと思つてゐる中に、散つてしまつたといふ歌の心で白薔薇といつたのが何んとなくもの思はしめます。

薔薇は春雨にもよく調和します。正岡子規といふ名高い俳人が

くれなゐの二尺伸びたる薔薇の芽の
　針やはらかに春雨のふる

と歌ひましたが、丁度畫をみるようです。

あやめ

あやめは、晩春から初夏にかけて咲く美しい花の一つて、一族に菖蒲やかきつばたもありますが、あやめが一番しほらしく、三人を兄妹とすると、是は妹です。

潮來出島のまこもの中で
　あやめ咲くとはしほらしや

名高い潮來ぶしであります。私は過ぐる年水戸に旅して、このあやめ踊りをみましたが、なつかしかつた。

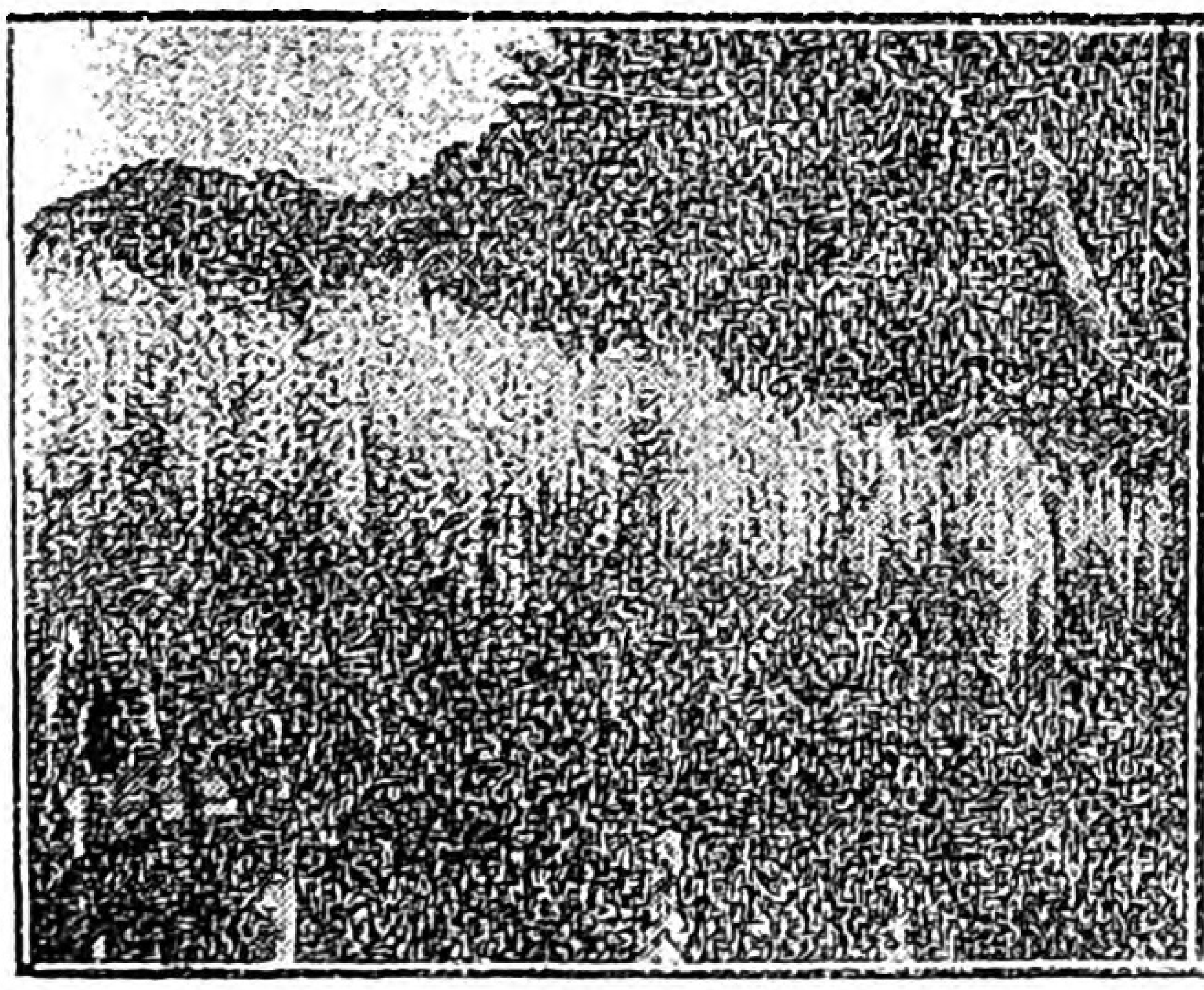
しめやかにふり出したる五月雨に
　ながめを添えし花あやめかな

うちしめりあやめぞかほるほとゝぎす
　鳴くや五月の雨の夕ぐれ

序にあやめの兄の菖蒲の歌を歌ひませう

明星に三尺低し花菖蒲

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN



切る手許ふるへ見えけり花菖蒲

菖蒲湯や命めでたき老の者

詩人ロングフエローは

虹とも見ゆる汝が花は
千萬のうち美しき
黄金の笏を手にとりて
あをき翼をうちひろぐ
汝は御神の使なり。

つゝじ

野も山も青々として曉かけてほとゝぎすが血を吐いて鳴きわたる五月のころ、まつ赤に燃え咲くつゝじも、春になくてならぬ景物です。

山鳥やつつじよけゆく尾のひねり

旅鴉の夕紅につゝじかな

散りのこるつゝじの蕊や二三本

つゝじは意氣の花であります。

岩間がくれのつゝじでさへも
　もゆる思ひの色に咲く

山で赤いのはつゝじに椿
咲いてからまる藤の花

藤の花

春の名殘を惜んで首夏に誇つて咲く藤の花は、書にも歌にもほめつくされて、げに果報の花であります。あのふさふさとしたかわゆい花房に、春雨の雫してゐるところは一入濃艶の眺めで、二八ばかりの乙女が、傘さして通つたならば尙申し分がない。

ぬるゝさへうれしかりけり春雨に
　色ます藤の雫とおもへば

草臥れて宿かる頃や藤の花

おぼろ夜や長くて白き藤の花

白藤は何んとなくさびしみを含んでゐます。親しい友を送つて村はづれまで來て茶屋に休んでゐます。送る人も、送られる人も、うつむいてゐます別離の情を胸に祕めて——。

『ぢや君子さんずいぶん御達者にね』

『えゝあんたも……』

ふとみるともなしにみますと、庭先の白い藤の花がゆらりゆらりと。(了)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

一寸したことで

簡易な肥料

皆様のお家で、牛乳をお取りなすつて、赤ン坊に呑ませた後、牛乳の壜には、必ず少しづゝ殘るものでありますこの底に牛乳の殘つた空壜を、すぐ牛乳屋に渡さないで、空壜の中に水を入れて、よく振りまわし、盆栽や萬年青へおかけになると、中々よくきゝます。

揚物を油臭くなくする法

揚物をいたしますと、油臭くて困りますが、その揚物をいたします時に、一番初めに生姜を揚げて、それから他のものを揚げますと、決して油臭くなりません。

安全な食物

食物が腐るといふ事は、黴菌の作用に依るのでありますから、黴菌を殺すといふ事が、一番安全であります。最もよく殺菌されて居るのは罐詰であります。けれども我國では、その方法が十分でありませんから、たま〳〵罐の蓋がふくらんでゐるのがあります。罐詰てふくらんで居るのは、腐敗瓦斯がたまつて居る證據ですから注意しなければなりません。

七輪の臺

七輪は立つたまゝ使へるやうに、臺を木で作り、其上に「とたん」を張つて置きますと火の用心もよく、また少々煮物がまわりにこぼれても、木の板にしみこまず、容易くきれいになります。

柏餅と粽餅の由來

柏餅と粽餅は菖蒲と共に、五月の節句になくてはならぬものですが、柏餅は太古すべて食べ物を柏の葉に盛つて食べて居つたといふ日本の古い遺風が傳つて來

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

たものであります。又粽は昔支那に屈原と云ふ志士がありましたが、世をはかなんで、川に身を投げて死にました、これを憐れんだ人々に、毎年其日に米を竹筒に入れて、河に投げて祭りましたが、或年の事屈原の亡靈が現はれて、「毎年祭つてくれるのは有りがたいが何時も蛟龍に盗まれて了ふから、これから楝樹の葉で上を包んで、五色の糸で結んでくれ、この二つは蛟龍の恐るゝものだから……」と申しましたので、それからその通りにしましたことが日本に傳りました。日本では之を惡鬼に象つて、ねぢ切つて頂きますのは、鬼を降伏させるといふ意味ださうです。

御飯を腐らせぬ法

暑くなりますと御飯が饐えて困りますが、これも御飯をあつかふ方法によつては、よほど違ひます。先づ一時間程前に米をとぎ、水に浸して、釜に入れる時再び清水で洗つて炊きます。そしてお櫃に移しますには釜の中央はよく水分を引いて居ますから、中央をお釜の底に移し、釜に接した處は上に置いて、早く頂くやうにします。

又お櫃の洗ひ方も、大變大切な事でありまして、お櫃の空いた時は、湯を入れて三十分許り置き、洗つてよく乾かし、長く水に浸して置かぬやうに注意致しますと、籠に入れませんでも、二晝夜位は決して腐敗しません。

清い里の流にお釜や、籠やお櫃が浸したまゝにしてあるのをよく見ますが、これはよほど考へて頂き度いと思ひます。

洗濯石鹸の使ひ方

洗濯石鹸は求めてすぐ、柔いのを其まゝ使ひますより、一度縁側へなりと出して、なる丈け能く日に干してから、使つた方が徳用でございます、けれども、鼠の多い家など夜分忘れずにおしまひになりませんと、かぢられては反つて損になります。

味噌の黴どめ法

味噌を瓶なり桶なりに入れたら、其上にぬらした布巾をかけて、一週に一度位しぼりかへてかけて置きますといつまでも黴が生へません。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

煙火を合圖に盛な處女會發會式

天野生

處女會は破竹の勢を以て全國津々浦々に普及した。

茨城縣新治郡は三十五ヶ町村を有し縣下でも大郡であるが、今や殆んど設立をみざる地方はない。中でも石岡町處女會の發會式は、非常な盛會であつた。

九月二十四日午前八時四十五分の上野驛發車の、平ゆきの客車に乘つた二人づれは小生と「處女の友」記者の松崎ひろの氏である。この日天拭ふが如く晴れ渡り車窓より菜の花のチラホラ咲くも見えて、何んとも言へぬ氣分である。

十一時半石岡町に下車して學校へゆくと、大國旗が春風にひらめいてゐる、關屋郡長も今井視學も見えたおひるのごはんを御馳走になつてゐると、煙火がポンポン勢よくあがる。校長の顏を見つめると、

糸賀會長

『今日の發會式の合圖です、時間勵行を致したいと思ひます』

その中あちこちから處女たちが學校さして集つて來ました、流石にいゝ町だけあつて處女もゆつたりとして上品である。會長は糸賀校長であるが、接待やら會場のお受やらは處女自身がしてゐる。

□

二時式は開始された。國歌合唱、勅語捧讀と順に進んで、左の協議事項を可決した。

イ、時間ヲ確守スルコト

ロ、互ニ善行ヲ勵ミ風紀ヲ正シ且ツ集合ノ際ハ努メテ質素ナル服裝ヲナスヘキコト

ハ、女子補習教育又ハ講話會ニ出席シ修養ニ努ムルコト

ニ、明治神宮參拜旅行ヲナスコト(但有志者ニ限ル)

ホ、敬老會及音樂會ヲ開催スルコト

其れから町の特志家飯塚氏が代々お家で作つてゐる名物紅白餅をお祝ひとして會場に撒いた。この餅は名代の餅で宮樣へも献上した名譽の餅、私も松崎氏も恭しくいたゞいて來ました。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

郡長の告辭のあとで私は「處女のお手本」といふようなお話を二時間ばかりお話しする。何しろ五百人の會員がキッシリ入つてゐるので、話し手もなか〳〵大變だつた。

そのあとで面白い講談が二席、處女はお腹をかゝへた。終りまで聞きたかつたが『汽車の時間が來ました』とのことで、名殘をのこして歸る。

上野へついたのが八時半、汽車の中で印刷物をみると、本年度の豫算も載つてゐた。參考に紹介しませう。

大正十年度（自大正十年四月 至大正十一年三月）收支豫算書

收入

科目	本年度豫算額	附記
一 會費	二〇四・〇〇	一人金六十錢ノモノ二百三十八人 此金百三十八圓 一人金三十錢ノモノ二百二十八人 此金六十六圓
二 前年度繰越金	五・〇〇	
計	二〇九・〇〇	

支出

科目	本年度豫算額	附記
一 役員會費	七・〇〇	役員會ノ雜費ニ充ツ
二 總集會費	五・〇〇	年二回講演者謝儀旅費其他ノ費用ニ充ツ
三 旅費	五・〇〇	役員其他ノ旅費ニ充ツ
四 講習講話會費	三〇・〇〇	講習講話會ノ諸雜費ニ充ツ
五 巡回圖書費	三〇・〇〇	巡回圖書購入費ニ充ツ
六 敬老會及音樂會費	二五・〇〇	敬老會及音樂會ノ諸雜費ニ充ツ
七 表彰費	五・〇〇	模範處女ノ表彰費ニ充ツ
八 印刷費	二〇・〇〇	各印刷費ニ充ツ
九 需用費	五・〇〇	備品及消耗品費ニ充ツ
一〇 通信費	三・〇〇	郵便電信費ニ充ツ
一一 雜費	一〇・〇〇	前項以外ノ諸雜費ニ充ツ
計	二〇九・〇〇	

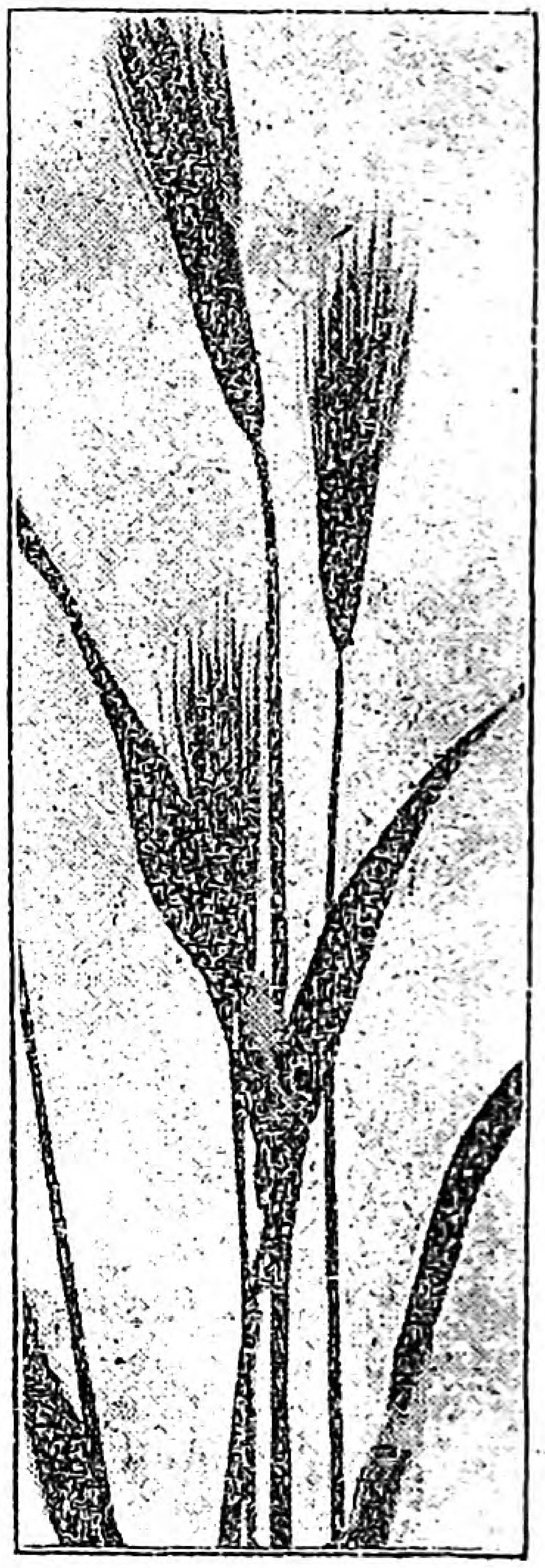
◎奥羽線赤湯より

温泉宿に泊まり居候。當地は未だ一面の雪にて、屋根からの雪崩が湯室のガラス戸に壓倒し來り居候。例の通り食を攝りつゝ女中さんに對して『膳頭講話』を致し候。食既に終はり講話既に終はりて、割箸を袋に納めて恭々しく床の上に取り退け候。女中さんケゲンな顔して問ふて曰く『そのお箸をどうするの』ソコで再び講話を續け申し候。『乃木大將は幾日泊まられても一ぜんの割箸で濟まされてゐた』云々と。（三月十九日 山本瀧之助）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

小手指處女會案內記

天野清子



青麥の風

小手指村處女會は埼玉縣下でも優良處女會であります。去る三月十五日豐田會長に引率せられて會員二百餘名が明治神宮參拜の爲入京されました。本部より主人が理事を代表して出迎へ、尚松崎ひろの氏と私とが御案內役をすることになりました六時頃池袋停車場でお待ち受けしてゐますと、到着しました列車から喜色滿面の會員がどや〳〵と降りて來られました。十五歲から二十歲前後の妙齡の御婦人で上品でしとやかで流石は處女會員であると感じました。それから原宿まで汽車に乘りそれから列を正しくして神宮の境內に步を移しました。松杉柏などのこんもりと茂つた神苑の神々しさ是等の樹木は大てい地方の赤子から獻上致したものでございまして、植込のお手傳は處女會員の兄さんの青年會員が致したのでございます。雲つく樣な大鳥居を仰ぎこん〳〵と湧き出る神水に手を清め漱ぎ、いよ〳〵本殿近くに進みました。會長は神官に導かれて恭しく玉串を捧げ御神靈に拜跪なさいます。會員は四列に整列して拜禮いたしました。內務省神社局から矢田部氏が御見えになつたことも感謝いたします。

○

それから表參道を經て青山迄徒步乃木邸を拜見いたしました。

うつし世を神さりまし〵大君の
みあとしたひて我はゆくなり

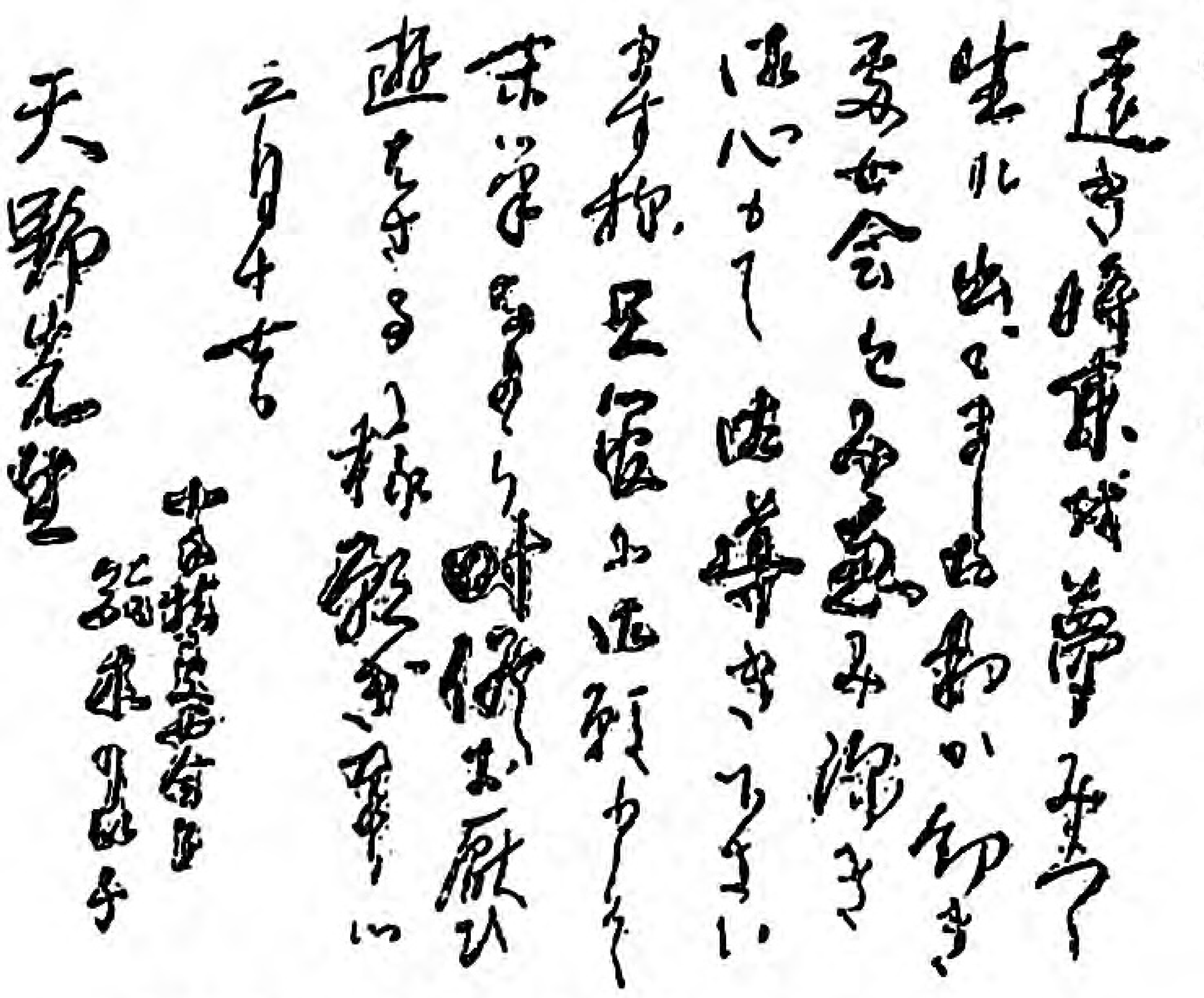
の辭世を遺して御夫妻で　先帝陛下に殉せられた將軍のお邸を目のあた

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

り拜見いたしました會員は、めいめいの胸に深い印象をのこした樣子でした。

其から程遠からぬ山脇女學校にまゐりますと、特に御設け下されし休憩室に案内され、校長先生が御忙がしい中をおさき下さいまして一場のお話をして下さいました。(口繪をごらん下さい) 茲でお辨當を開きましたが女學校生徒諸孃がお茶をついだりお菓子を配つたりして下すつたことも、會員の永く忘れることの出來ないこと丶思ひます。山脇先生の御話の如く地方處女會員も都の女學生も境遇こそ異れ同じくたふとい使命のもとに働いてゐるので、何れを優りいづれを劣れりといふことなくお互に勵み合はなければなりません。

尚乃木燒の御馳走になりまして一同は益々恐縮いたしました。婦人共勵會の伊藤文子さんもわざ／＼お出で下さいました。

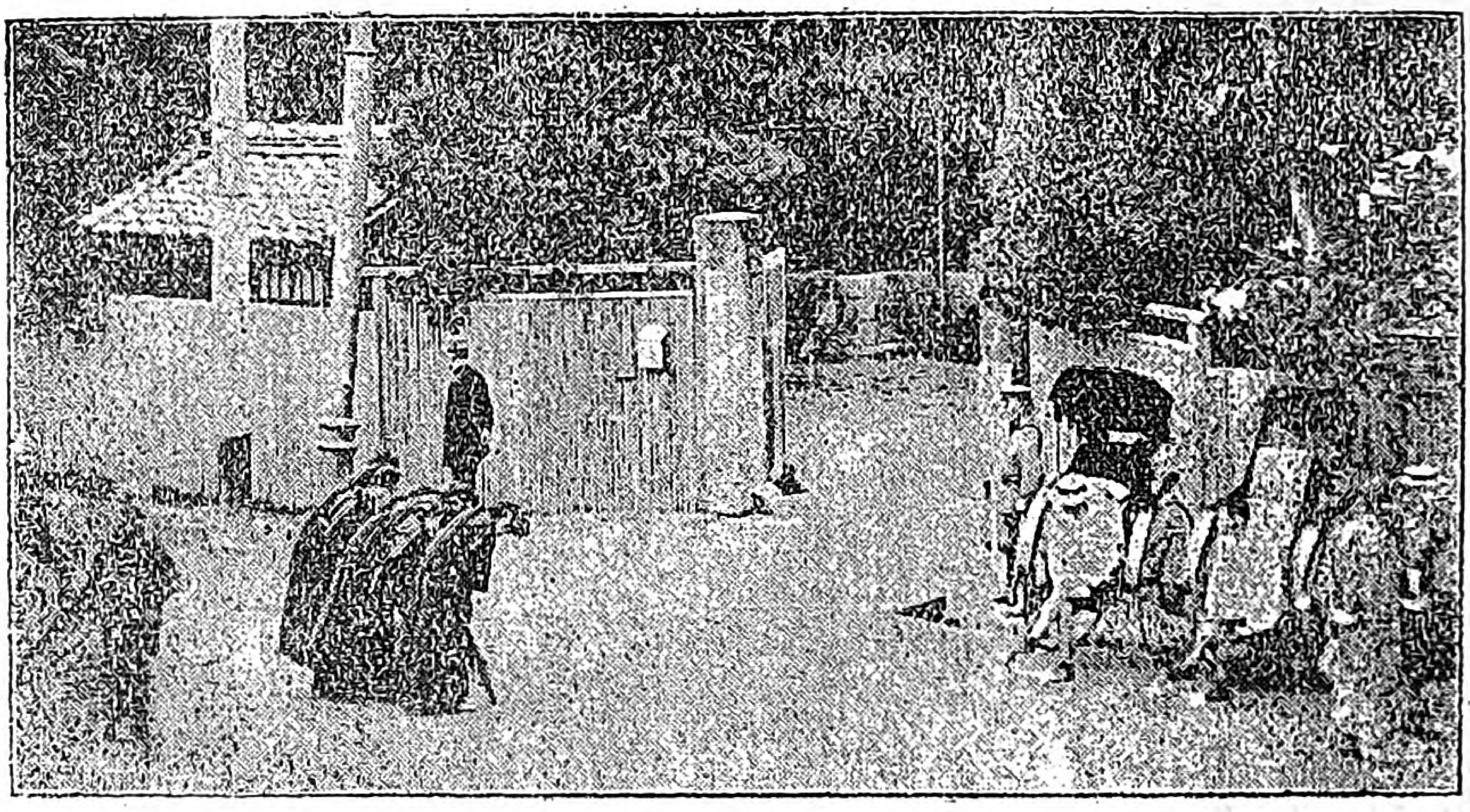


(埼玉縣小手指村處女會員鈴木りい子さんより)

○

この頃から烈風吹き荒んで會員は非常に苦しみましたが、元氣のよい田園の乙女は一人として難儀を訴へるものもなく、日比谷公園に出で貴衆兩院を外部から參觀し、櫻田門より二重橋に出て、皇居を拜して天壤の無窮と帝國の隆昌とを祈りました。楠正成の銅像を見まして、日々新聞社に參り新聞紙の發行する樣子を見せて貰ひました。社では一行のためにわざ／＼寫眞をうつされましたが、その翌くる日の埼玉版にその寫眞が出てゐましたさうです。そこでお茶の御馳走になり東京驛から電車で池袋驛に向はれました。御案内も十分に出來ませんでしたのに會員の方から毎日の樣にお便りいたゞきますどなたも文章が立派で文字も美しいのには感じました。上にありますのは會員の一人の鈴木りい子孃の筆跡でございます。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN


（乃木邸）

處女の友愛讀者大會の記

岩代猪苗代湖畔にて　詩の花

雪深きこの山里に春の女神は訪づれました。お懐しい中央部の諸先生には御變りあらせられず、全國處女の爲御盡くし下さいますこと、有りがたいことでございます。

春雨のしと／＼とふるさびしい三月二十日。この日は私共愛讀者にとつて永久に忘れることの出來ない嬉しい日でございました。「處女の友」愛讀者の會、あゝ其が母校猪苗代の小學校で開會されたのでございます。多年の宿望の叶つた嬉しさ、ほんとうに言葉に盡くせません。

午前十一時、開會の辭は菅野校長が述べられました。それから會員一同

「野の幸」の合唱

それから、小林先生の「女の床しさ」愚かさ、渡部先生の社會奉仕、校長先生の童話、それは／＼面白うございました。餘興としては、校長先生、小林先生、渡部先生の謡曲「鞍馬天狗」渡邊先生の詩吟、高女生徒の唱歌「山の家」などとり／＼に面白うございました、殊に小林先生の目出度／＼

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

の唄には、一同お腹をかゝへました。

其から遠藤・橋本・大宮の女先生を始め、補習科の皆々様がお菓子とお茶を拵へて下さつたのもありがたいことでした。會員は五十名あまり、第一回よりこんな盛大に開會出來ましたのは、校長先生はじめ諸先生のお蔭でございます。それだのに、この樣にお盡くし下さつた菅野校長先生は遂にこの會をお名殘に、猪苗代小學校をお去り遊ばす事に成つたのでございます。あゝこんなに

人格の高い校長先生

を母校の教壇に拜することの出來るのも、けふが限りと思ひますと、悲しうございます。先生の御人格は實に〲けだかく、村でも皆父母の如く慕ひましたのに何んといふ情ないことでせう。中央部の先生、親鳥に別れる雛の心をお察し下さい。校長先生は「私は何處へいつても、あなた方の幸福と當會の發展とを心から祈つてゐる」と仰言いましたが只私どもは悲しうてたまりません。嬉しさと悲しさと一所になつた胸を懷いて母校を後にしました。

家へ歸つてしみ〲と考へてゐますと、春雨は嵐に變つて恐ろしいようです。中央部の先生は何をしてゐらつしやるでせうなど思ひました。ふとまた胸に浮ぶのは、

亡き母亡き兄の

事どもでございます。母ありし日のなつかしき思ひ出に耽つてゐました。先生私は不幸な境遇に泣くうら若い十九歳の處女でございます。母亡き後を幼き弟妹を育みつゝ三年を過して參りました。悲しい淋しい身を慰めてくれるのはこの處女の友でございます。(下略)

◎

四月二十五日には福島縣河沼郡の處女大會が開かれまして、本部から天野田所兩理事が出張されます、そのに序天野理事は猪苗代處女會を訪問される筈です。六月號をたのしみにして下さい。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

南と北の病める友に

□□□松崎ひろの□□□

南の榮子さまへ

廣い〳〵野に、一人とり殘されたやうなたよりなさ、はかなさの中に、春は靜かに逝つてしまひます。

永い間の病院生活は若い貴女を蝶よ花よとあくがるゝ春の華かさから遠ざけて、お痛はしい心の惱みを刻んだ事と思ひます。

どんなにか旅の空の病院生活が御心苦しかつた事でございませう。お生れつきお弱くもない貴女が、近年になつて折々病魔に苦しめられて、幼い折の元氣さとお丈夫さが失せてしまひ、唯なよなよとお優しいお姿と惱ましげなお心が淋しう見られるのが、私は悲しまれます。

榮子樣――、私は十年の昔がなつかしうございます。あの芹つみやつくし取に野邊を歩いた頃の貴女――れんげ草の咲き亂れた田甫を轉げ廻つたり、走りまわつたりした頃の貴女がおなつかしくてなりません。

お下髮にかけた赤いリボンが黒い櫛となり、引ときに結んだ帶はお太皷に變つても、お互ひの心だけは十年昔の無邪氣さと元氣さで居たいと私は心から望んで居ます。無邪氣な中に向上があり、元氣な中に發展がある事を思ひますれば、私共は萬年處女として何時までも何時までも、萌ゆる若葉の生氣を失つてはならぬと思ひます。十四歳にして父なき乙女となられた貴女は種々の精神的のお苦しみを味ひになつて、涙に暮した私と同じ心でお互に乙女時代は淋しい、暗い悲しみに、運命の神の惡戲を恨んで參りました。

尚其上に貴女は幼い頃の健康體から、御病ひ勝ちのあけくれに御痛はしい御叫びがお筆の節々に漲つてゐるのが、いよ〳〵私を涙ぐませます。榮子樣まだ〳〵貴女はお若い、貴女の前途は光つて居ます、お優しいお心の美と、溢るゝばかりの才氣の持主である貴女を

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

思ふにつけ、御丈夫でさへあれば、元氣さへよければと刻一刻に近づきつゝある貴女の幸福が待ち遠くて私はもどかしがつてゐます。

草深き田舍の住ひに病みて泣くと、お嘆きなさいます貴女の周圍には暖き母君の情けがあり、父祖代々の御家といふお心安さがあります。

華やかに御想像なさいます私の都の生活には、片時もゆるがせに出來ぬ仕事に追ひかけられ、ずん／＼と追ひ越して行く人の、後に追ひすがる心のもどかしさと、我家ならぬわび住ひの不安があります。

花は咲けども鳥は歌へども、故鄕の鎭守樣に蓆をしいて、睦まじい村の老若男女集つて辨當開いた樂しさは夢にも味ふ事が出來ません。

一日を思ひつかれ歩きつかれて、夜更けまで筆とる私が、昔に變る樂觀主義は、唯自分のなすべき仕事に對する趣味と興味によつて作られたものであります。あゝしなければ、かうしたい、といふ堪え間なき活動は、私を悲しみから幸福に導ひてくれた、恩人となつたのであります。花を咲かせて花を散らせ、青葉から紅葉に次から次に活動する大自然は、活動の中に美と善と眞の結晶を、作つて行かれます。其自然の惠みによつて育くまるゝ私共は、もつと／＼働かねばならぬと思ひます。働きませうお互ひに若いのですもの、どうぞ丈夫になつて村の向上、村の榮えのために働いて下さいませ、さうして活動によつて悲觀を轉じて樂觀として下さい。

北の優子さま

まだ淺いお交りでございますのに、何故か貴女のお姿が私の胸に刻み込まれて、朝となく夕となく貴女の影が私につきまとうてゐます。

優子さま――

貴女はきつと細面の髮の毛の美しい方でございませうね、そしてすらりとした肩のあたりが細つそりとして、もの言ふ度びに伏目になつて、大きな聲はお出しになさらずとも、美しい聲の持主であると想像されます

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

親一人子一人といふ淋しいお家に病を養ふて、お母樣に心配をかけまいとのお心づかひから、苦しさも悲しさも凝とこらへて、お母樣の前殊更に元氣らしうつくらふ貴女と、病魔に苦しむ娘の痛々しい姿を見ては込み上げて來る涙を胸に呑んで、生活の不安も、自分の心苦しさも娘に知らせまいとの親心から、ほゝ笑みに涙をまぎらすお母樣とより作られた貴女のお家は、美しい、床しい、淋しいお家でございませう。

兩刀さした武士の果と氣品を高く持つて、中學校に教師をして居られたお父樣がお亡くなりになつて、三歲の貴女をかゝへたお母樣が、あらゆる困難と戰つて雄々しくも奮鬪してお育てになつた貴方が、やう〳〵人を教へる程になられ、やれ嬉しやとお喜びになると間もなく貴方は御病氣で、一年近くも御療養に費された。其間の御心勞はどんなで御座いましたでせう。教場に殘した可愛い教へ子の事も思はれませう。お母樣の御苦勞を見るのも御心苦しいでせう。

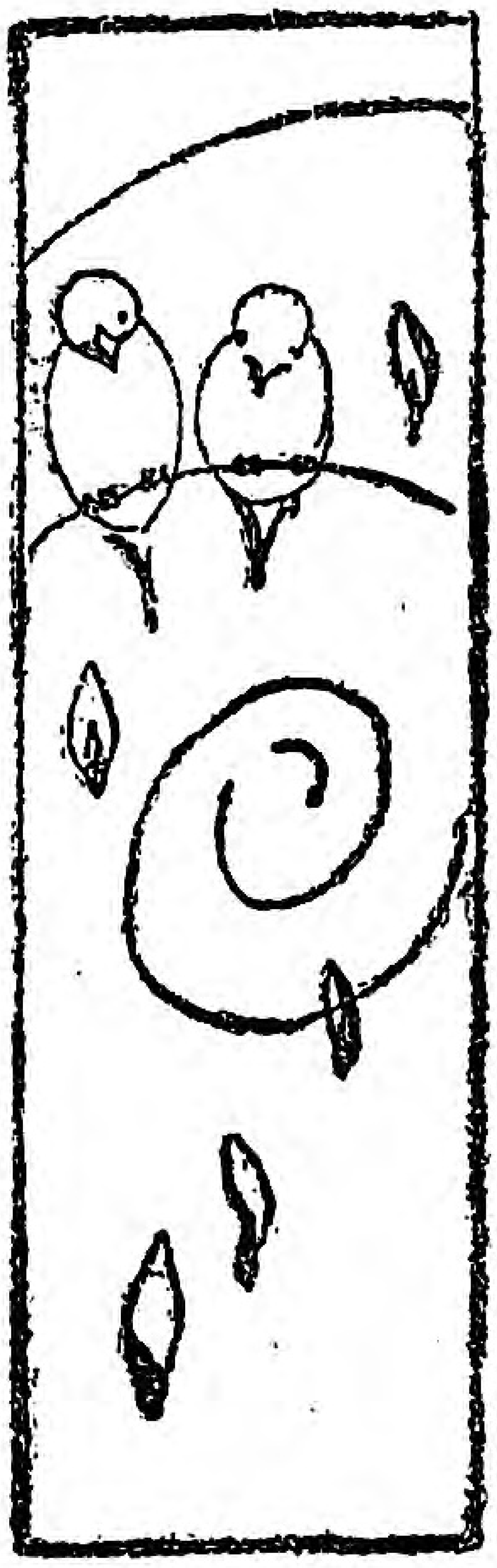
優子樣――

貴女のお胸の惱みが凝つと見て居られない程私にも傳はつて、「友を助けて……友を救ひて」と聲を限りに叫んでは、み佛の慈悲におすがりし度いやうな氣が致します。私は淋しい運命に弱い心で半生を過ごしました、それだけ世の乙女たちに向つて、華やかなれ、快活なれと言ひつゞけ、神よ愛する友の純潔さとあどけなさを、永久に守り給へといのるのでございます。

どうぞ心の平和、心の幸を以て、丈夫になつて下さいませ。心の平和、心の富は趣味によつて作られませう。趣味は何人にも奪はるゝ事なき貴き寶であり、汲めば汲む程あふれ出る、喜びの泉であると思ひます貴女は天災地變でも壞れぬ金殿玉樓である趣味をもつておらつしやる。心の富、貴い趣味によつて王侯にも勝る喜びを味ふ事の出來るのは、貴女として何といふ喜びでございませう。趣味によつて惱みを忘れ、平和な心によつて煩ひを捨て、幸多き運命を、お拓き下さいますやうに願ひます。

× × × ×

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN



峠のわかれ

白雲

『母さん暑くないかネ』
『チッとばつか暑いヨ、やれ〳〵草臥れた』
桃割れに結つて、風呂敷包を小脇にかゝへ、洋傘をさした十七八のおとみの後から、お袋らしい五十二三の女がゆく。
『母さん』
とおとみは振返つた。いゝきりようといふではないが二重瞼の眉毛の濃い、口許に愛嬌をもつた、品のよい娘である。
『何んだヨ』
お袋は力なく答へて立留つた。
『母さんもう何處まで來てもきりがないから歸つておくんな、また歸りが大變だもの』
お袋は袂から手拭を出して汗ばんだ額を拭つてゐたが
『ウム、そんぢやあすこまでにするヨ』
二人は列んで狹い小徑を歩んだ。ゆく春から首夏にかけての生氣を受けて、草も木も勢よくスイ〳〵と伸び上り、いかにも心地がよい、路傍には、わらびが勢よく萌えてゐる。菫も咲きみだれてゐる。其よりもパッとするのは、所々につつじが血の樣な色をして咲いてゐることである。ホーホケキョとさゝ籔から老鶯が啼く、その聲があたりのしづかさを破つて、遠くまでひゞく。
『おとみ、かゝわれからだを氣をつけてな、いつくら金をとつたつて病身になつちや駄目だヨな、新田の咲ちやんの樣になつちやあな』
『母さん、大夫丈ヨ、いゝ工場だもの。夜業もないもののね』

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

おとみのいふことは耳にも入れずに。

『ほんとに氣をつけョな、父さんも年を取つて案じてゐるでな、健太も今年徴兵だもの……』

クワッコウ、クワッコウ、クワッコウ、クワッコウ…

『母さん、ごらん、郭公が……ほととぎすと同じ鳥だョ』

『わしには聞えない』

といひながら、お袋は立留つて目を細くして空を仰いだ。

『さあ、ぢや、母さん、こゝで歸つておくれ、父さんも待つてゐるもの…』

此處は峠の天邊で見晴らしがよい、丁度そこに二人で腰かける位の石があつた。お袋は手拭でゴミを拂つて腰を卸ろした。おとみも列んで腰かけた。

見卸ろすと、麓の里がよく見える。小川が銀色に光つてみえる。流石におとみの胸は塞つた。二年といへば、短いようで長い、たとへいゝ工場とは言ひながら戀しいわが家を遠く離れて、今夜からは、見知らぬ人と苦勞を共にせんければならぬと思ふと、かうした、身の上になつたことが怨めしいような氣がした。けれどおとみは、一寸の間にそんな心を打ち消してしまつた。

『母さん、ぢや心配しておくんなさるな。暇が出たらお正月には歸るよ。』

『ウム、われ、いゝか、身體を氣をつけてな、無理するぢやないョ、鹽梅がわるけりやたよりをするだョな、着物はな、あとから送るでな、』

カッコウ、カッコウ……

『鳥がないてるな』

こんどはお袋が聞きつけた、二人は思はず空を仰いだおとみの目には露が一ぱいになつた。其を知らせまいとするほど眼は曇つて來た。

お袋は持つて來た小風呂敷を渡して、

『えゝか、汽車の内を氣をつけてな、掏摸がゐるげなからな。』

おとみは、帶の中に手を入れて、しつかと握つてみせ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

た。お袋は何んと思つたか、懐から皺くちやの巾着を出して、勘定をするらしかつたが、大きな銀貨を二つさがし出して、

『われ、これだけもつてゆけ、』

手渡ししようとする。

『母さん、わしのたんとあるもの、えゝよ、』

『まあ、持つてゆけョ』

『母さん、ほんとにえゝだよ、けさ叔母さんからも一圓貰つたもの……』

『まあとつとけ、小使もゐるものな』

『オイ。ごめんよ…』馬子が勢よく馬を牽いて通り過ぎた。馬の背の上に切り立ての薪が山の樣に積んである

宮へ參りてなんとゆふてをがむ
一生この子がまめなように——

シャン／＼といふ鈴音が消えた時分、馬子唄が長く長くひゝいた。其が何んとも言へない淋しい思ひをおとみに燒きつけた。

峠の上に、親子二つの心がいつまでも結ぼれて別れられなかつた。

『母さん、ぢやいつて參ります』

いつまでかうしてゐてもと、おとみは思ひきつて、立ち上つた。

お袋は氣がぬけた樣に立ち上つて。

『さうか、ゆくかな、』

『母さん、からだを大事にしてな』

『なんの、われこそ氣いつけてな、鹽梅わるけりやたよりするだョ、氣を廣くもつてな』

『ぢや母さん、左樣なら……』

『…………』

二三歩いつて振返つたおとみの目と、いつまでも立ち留つて後ろ姿を見送つてゐるお袋の目と出會つた。けれどおとみには、お袋の顔が見えなかつた。

クワッコウ、クワッコウ……

一しきり高くほとゝぎすが啼いた。

* * * * * * * * * * * * * * *

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

世界の驚異ヘレン、ケラー

深緑

同じ自然に咲く花にも、恵み深き園丁の優しき培ひをうけて、荒い風も知らずに咲き匂ふ花もあり、荒れ果てし野の片すみに、小さく芽ばえて、恵みの露に浴することも出來ず、心ない人にふみにじらるゝあはれな花もございます。

人生、僅か五十の春秋を、並々の人と同じ恩澤に浴し得ずして、悲しい一生を終る不具者は何といふ氣の毒な、あはれな人でございませう。ヘレン、ケラーは實にこの不具者の一人で、父と呼び母と呼ぶ事も出來ず、我子よと慈しむ父母の懐しい聲すら聞く事も出來ない身であります。

今から百年ばかり前、米國北アラバマ州タスカムビアといふ、淋しい田舎町にアーサア、ケラー大尉といふ人が住んで居ました。

丘山高く聳え、緑色の蔦で蔽はれた其家の睦じい夫婦の間に可愛い女の子が生れました。

臺所から

五月の食品

(魚　類)

バチマグロ＝鮪の一種で、煮物、燒物、ぬた、すし、さしみ、照燒等に用ひます。

イトヨリ＝鯛に似て、上品な魚です、色が赤くて、眼のさえてゐるのが上等です。燒肴、椀、茶碗の種に用ひます。

鯉＝河魚の王で祝儀に用ひます、生きて居るのを求めて、いよ〳〵料理する間際まで生かして置くもので、主として、鯉濃汁、あらひ、生作り、あめ煮に用ひます。

シヤコ＝海老と同類でよく似た形をして居ます、天ぷら、甘煮、しやこ飯に用ひます。

小鯛＝鰓が赤くて、腹の破ぶれて居ないのが上等です。燒物、煮物、ぬた、すし、さしみ、照燒、フライ、汁等さま〴〵に用ひられます。

タニシ＝池や水田にある貝類です、身が大きいのがよくて、煮て剥身となつて、臭氣のあるのは悪いのです。酢味噌和、うまに、味噌燒、味噌汁などに適當です。

(野菜類)

空豆＝ふき豆、きんとん。うま煮にします。

莢豌豆＝青煮、含煮、胡麻和、味噌汁、辛子和等に用ひます。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

名をヘレン、ケラーと申して天使の様に美しい赤兒は掌中の玉と愛で慈しまれましたが、あはれ生後十九ケ月目に恐ろしい病氣に犯されて、危く命を失ふ所をやう〳〵に助かりました。けれども運命の手はこの可憐な幼子に生涯癒す事の出來ない痛手を殘しました。

あゝヘレン、ケラーは、生涯見る事も、聞く事も、語る事も、出來ない人となつたのです。

美しい花、可愛い人形はもとより、なつかしい父母の顏も見る事が出來ず、樂しい小鳥の聲も我子よといふ慈悲ある父母の聲も聞く事の出來ぬ身となりました。生れもつかぬ、盲目で聾で啞の三つを兼ねた不具者となつた、ヘレン、ケラーは、何につけても、不自由を感じ、腹立しさ、焦ら立たしさが先に立つて、或時は庭の植木鉢や家具を手當り次第になげつけ、料理番の子に無理をしたり、かきむしり度いやうな胸の苦しみを押へ兼ねて、樂しい少女時代を、亂暴と無智と我儘に、暗を歩む心はます〳〵荒んで行くばかり、かうした惱ましげな幼子の、振舞を見る兩親の悲しみは一通りではなく、どうかして暗より明るみへ救ひ出してやり度いと、あけくれに祈りつゞけました。

其頃盲啞の敎育者として名高いベル博士の許に、ヘレンをつれて行きましたところ、博士は

「この子は到底癒らぬ、然し充分面倒を見て敎育をしたならば、

蕗＝うま煮、から煮、きまらぶき、味噌汁胡麻和、白和等に用ひます。

五月大根＝主としておろしに用ひます。

ウド＝酢味噌、茶碗、卵とじ、に用ひます。

筍＝月初め頃迄は軟らかで、さま〴〵の料理に用ひます。

（果物類）

イチゴ、夏蜜柑、バナ、、

魚を燒く呼吸

一尾の魚を姿のまゝ、串にさして燒く場合には、魚全體に、生酢を引いて、鰭と尾とに鹽を塗りつけ、鰭は貝く、立てゝ、强い火で頭を低めに尾の方を高めて、上身の方から燒きます。而して口から澄んだ水が滴れるやうになつて、脊鰭と腹の下鰭とが一分通り、白味をもつて來ますと、其時串を廻して裏返し、下身の方から眞く火の通るまで燒き、燒き終つたならば、再び串を廻し、熱の冷めた時、串を拔きます。初めに魚に生酢を引いて、鰭と尾とに鹽を塗つて置きますと、鰭や尾が焦げて終ふ樣な心配がありません。

酢味噌の味噌ぐさい臭を拔く法

酢味噌の味噌くさい臭を拔きますには、味噌と砂糖とをよく擂り混ぜた後に、一度火にかけて煉り、それから酢をまぜるとよろしうございます。

莢豆類の煠で方

莢豌豆、莢元隱などを色よくゆでますには、水

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

「必ず立派な婦人となつて、心の輝きを見するであらう」と申されましたので、ベル博士と相談して、サリヴアン夫人といふ、徳高く意志の固い婦人を家庭敎師としてヘレンの家に來てもらひました。

まるで野獸のやうで何一つわからないヘレンは、同情あるサリヴアン夫人の愛をも感ぜず、初めの中はなか〲なつきませんで、唯亂暴ばかりして居ましたが、忍耐强いサリヴアン夫人は、あくまでも此氣の毒なヘレンを光明の道に導かねばならぬといふ熱誠を以て堪え忍んで、あふるゝ慈愛、不撓の精神を以て、ヘレンにさま〲の言語を敎へました。

「ミーズー（水）」

といふ語は實にヘレンが、宇宙の物には何でも名前があるといふ事を敎へられて、初めて知つた言葉でありました。

ヘレンはそれが嬉しくてたまらず「父、母」「人形」などゝ手の指を熱心に働かせて、一生懸命に敎を受けました。少しの間に三十ばかりの言葉を覺えて唯サリヴアン夫人を賴りに、いろ〱の文字や言葉を覺えました。

學問と希望に燃えたヘレンは、倦まず撓まず努力して、サリヴアン夫人の敎へを受けて居ましたが、普通の人と同じやうに學校で敎へを受け度いといふ事を熱望するやうになり、『初學讀本』といふ書物を與へられ、人々の二倍も三倍も苦心して勉強しました

で洗ふと直ぐに熱湯に入れて、同時に鹽を少し入れて、蓋をせずに三分間も强い火で煠で、笊にあげて、湯をきり、團扇で急に冷まします水から入れてゆでたり、なまぬるい湯に入れてゆでたり、又は蓋をして煠でたり、長く煠でたりすると、必ず色がわるくなります。あまりゆですぎても、赤みを帶びたりします。

酢の手入法

酢は淡黃色透明のもので、酢味と香氣のあるのが特徵です。濁つたものや、沈澱物のあるものや、黴の出來たものなどは、惡いのです、夏になりますと、酢が惡くなり勝ちですから、其取扱ひにも注意をしなければなりません。これを防ぐには、買入れた時に、直ぐ上等の食鹽を酢一合に對して、一匁位の割合に入れて、良くかきまぜて置くと惡くなりかれます。

うどの味噌煮

あまり大きくないうどを、一寸位に切つて、皮をとりよく湯煮して、味噌を酒でのばし、其中に充分よく煮て出します。又わさび、さんせう、胡椒などをつけ合せて味噌に合せます。

筍のしろあへ

短い柔い筍をよくゆでゝ、薄く切り、黑胡麻に少し山椒をすりまぜ、酒でゆるめてあへて出します。

柏餅の拵へ方

しん粉百目を丼に入れて、熱湯一合半を、少

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

其間にあつて、サリヷアン夫人はヘレンの勉强を助けるために、自分を捨て、あらゆるものを犧牲にして、ヘレンのために盡しました。

やう／＼に光明の端緒を開いたヘレンは、進んでケンブリッヂの女子學院に入り希臘語や、羅典語を收めて、いよ／＼腦力を發揮して、遂に最高學府ハーバート大學を優等で卒業する事が出來ました。並々の身體を持つた者すら、大學を卒業するは容易な苦しみてはありませんのに、耳も聞えず眼も見えず、語る事も出來ない不自由な身で、これだけの學問をしたといふには、どんなに苦痛であつたでせう。

又それだけに導くまでのサリヷアン夫人は如何ばかり苦しい月日を送られたでありませう。

聾啞と盲目の一少女ヘレンはたゞ指に觸れ、鼻に嗅ぐ事だけて血と涙の努力で、多くの者に崇められ敬まはれ、世の人に大きな敎訓を與へるやうになりました。

見事に成功したヘレンは、一身を社會のために捧げやうと決心して、米國四十八州をめぐりめぐつて、幾百萬の人々に人の道を說き、自分の苦心談を傳へて、

「惠まれないものも、虐げられて居るものも、努力と奮鬪を忘れてはならぬ、正義と自由は人道の最後の勝利者だから」

と云ひつゝてゐます。（をはり）

しつゞ入れては擂木で擂りまぜ（すり鉢でない鉢で）ます。段々とまぜて行く中に、團子のやうになりますから、この時よくこねて、小判形にちぎつてのばし、丸めて置いた餡を例の柏餅形に折り包み、蒸籠に水のたろゝ程ぬらした、布巾を敷いて、其上に並べて蒸します。二分間程蒸しますと、餅の上面に細い泡が立ちますから、一寸蓋をとります、とすぐ泡が消えます。又蓋をして蒸し今度は一分間程たつて、又蓋を開けて見ます。さうして三回繰りかへし五六分も蒸すと、蒸せますから、とり出して柏の葉につゝみます。柏餅はこの蓋の開け方一つで、上出來にも不出來にもなります、蓋を開けて見ないと劑れますが、泡の立たぬ中に蓋をとりますと美味しく出來ません。

蕗の隱しからし

蕗を煮立つた湯に入れて、掻きまわし、引き上げて、皮を剝いて、水洗をし、もう一度湯煮をして、灰汁出しをしてから、一寸五分位の長さに切り、だし、砂糖、醬油で薄味に下煮をして別に芥子をかき、少しとり分けて、だし二、醬油三、の割合で溶きゆるめた中に、蕗を入れて和へる。

きやらぶきの作り方

ふきを七分位に切つて、四五日間日光に乾かして、鍋に入れて、醬油をつぎ込みまして、煮つめます。尙乾應辛を洗つて、薄く輪切にしたのをよい加減に加へて、中火にかけて、から／＼する位迄煮つけて、瓶又は壺に入れ蓋をかたくして貯へます。これは漬物代用のものですが夏向などの御菜にすれば結構です。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

福島縣長塚處女會

福島縣双葉郡長塚村處女會では二月十一日紀元節に敬老會を兼れて、第二回総會を開きました、大略其模様をお知らせ致します。

一、開會の辭(大谷會長)(午前十時)
二、唱歌(君が代)會員一同、
三、戊申詔書捧讀(大谷會長)
四、挨拶(林村長)
五、會務の報告(黑木幹事長)
六、決議並ニ協議
七、講話
木幡仙州(心の修養)
八、晝食
會員一人一升宛米を持參し、自ら煮て握飯となし老人來賓に分ちました。
九、會員演説
1、母の愛(横山ハルイ)
2、美しい心の勝利(江𨵙ヨシイ)
3、所感並に將來の心得(紺野ヨシ)
4、時間勵行(吉田ヨシ)
5、所感(副會長岩東マス)
十、講話
郡視學吉田庄太郎氏(長塚處女會に望む)
新聞記者猪狩喜久治氏(所感)
醫師石川政記氏(處女の自覺)
十一、餘興
福引、浪花節(乃木將軍)
十二、老人林直藏氏(七十四歳)謝辭
十三、唱歌(野の幸)會員一同
十四、閉會の辭(午後四時半)
十五、紀念撮影(口繪參照)

皆喜びの色を顔に見せて、集つた人々は
老人三十名　女十九名　男十一名
會員(七十二名)
愛國婦人會員(十八名)

來賓

吉田庄太郎氏(視學)木幡仙州氏(僧侶)猪狩喜久治氏(新聞記者)林秀治氏(村長)木幡清世氏(隣村處女會長)川本靜治氏(驛長)石川登氏(巡査)石川政記氏(校醫)其他學校職員、村會議員、學務委員等でした。

愉快なりし六花會

静岡縣高根村　土屋千枝子

雄々しき芙蓉の峰を背景に、大正十年三月十三日なつかしい母校に於て、處女會春季総會は開かれました、(この會を我が村では六花會といひます)

丁度大正六年十月卅一日始めて、この會が開かれましてから、會長長田澗雄氏の熱心なる御盡力と、慈愛深きみ心にての御指導により、日に

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

月に向上發展し、裁縫講習に、料理講習に、敬老會に世人の注目する所となりました。

十一日から續いた大風雨も十三日はすつかり晴れて六花會の前途を祝ふやうに見えました。

開會の辭…………會長

會の報告

來賓の祝辭及講話

續いて會員が催した餘興もだんだんと好評を以て終り、午後五時別れ惜しき六花會も閉會いたしました。

和歌山縣伊都郡高野村婦人會高根支會

去る二月十四日午後三時より高根小學校に於て第六回総集會開催す其の順序決議事項左の如し

一、君が代合唱　二、敎育勅語捧讀

三、開會の辭　高田支會長（昨年柳瀬本郡長の御訓示による婦人會員方の誓ひ要目を説示して開會の挨拶に代ふ）

四、會務報告　九年度總集會一、通常會三、役員會五、郡婦人會一、社會奉仕事業出動四、

五、會計報告　略　六會員異動報告　現在會員處女の部二九名　母の部一六名

七、役員改選　副支會長古家タイ女　幹事龜谷小竹女當選

八、會費　本年度會費五十四錢づゝ徴收內　二十四錢は基本金蓄積分

九、會員積立金　現在高百十三圓廿四錢　外に拾圓勸業債券五枚

（北海道內海千代子寄）

アイヌの女

一〇、社會奉仕に關する件

社會奉仕事業出仕者不出仕者氏名並に不出仕者は代償金參拾錢（基本金として積立）を出すべく徴收元簿調製及一日一善必行錄を會員各自に作らしめ社會奉仕の精神涵養に努む

一一、優良婦人の表彰

古家タイ女龜谷竹女に對し姿見一組宛を贈り其功績を表彰す

一二、閉會　兩陛下の萬歲を三唱して和氣靄々裡に解散時に午後七時尚去る二月二十二日午後二時より青年會との聯合講演會を開催

會員五分間演說出演者左の如し

一、女子の務　西田貞子

一、心の美人　向井花子

一、女子の覺悟　上江イノ

一、應急手當　庵前シゲ

一、所感　向井クマ

一、誠に美しい少女　龜谷小竹

一、御飯の焚き方　中谷ウタ

一、心の花　橋詰かめの

一、あたりまへのこと　古家ぬい

以上青年會員出演者を省く

來賓の講話として　高野山日曜學校主任山口憲雄師の社會奉仕について同校講師伊丹親信師の婦人會に於ける都會と田舍との長短所比較談

餘興として婦人會役員の火災豫防宣傳數へ歌節面白く合唱ありて後久保氏の浪花節蓄音機等あり午後七時三十分嬉しく解散す

因に本日は舊正十五日地方休日を利用して兒童靑年婦人會員の成績品展覽會及戶主會を兼ね開催の事とて區內殆ど全戶擧げて來會稀に見る盛會なりき

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

私の處女會員に對する希望

福井縣　池田龍雄

私は全國の處女會員たる、皆さんに向つて希望を申し上げます。第一に綿服を着て、會に集まつて下さい。處女會は着物を光らし、顔を美しく塗り包み、徒らに男子の歡心を得る稽古をする處ではないのです。處女の眞の美は野原に働く姿であります。第二には、現代青年を慰め勵ますべき、立場である事を自覺して欲しいのです。

補習學校を休業して雜談に時を移して皆さんの家に迷惑を懸ける青年の如きはどし〳〵と戒しめて下さい。農村青年からコスメチツクを取り去り金指輪を糞土の如く放棄さす事を得るのは只に皆さんの御力にあるのです。

目覺めて下さい、人として女子として此意義ある生活に進んで下さいどうぞ處女會を中心としてこの意味ある覺醒運動の基調を發足して下さいそれを目して私達はお轉婆などとは申しません。

我等は互に協力し汗と愛とに奉仕して、農村をして樂しい村富みたる村にしなければなりません。

働いて下さい。子孫の爲に働いて下さい、農業は神聖です、决して〳〵いやしい職ではありません。

皆さんは、將來の良妻たり未來の賢母たる方々であります。眼覺めて下さい。そして、いつまでも〳〵我々青年の愛護者となる樣努めて下さい。我々達は時勢を指導する爲に覺醒運動を興して居ります。併し私共及仲間が皆貧乏であります、そうして反對者も多いのです。其の私達を勵ませ慰めてくれる處女が欲しいのです。

私達は主義の爲に我々を援助し補助して與れる健氣な女性が欲しいのです。そう云ふ處女を新時代の處女會が養成して欲しい、さもないと私達貧しい社會改造家は共鳴者を得ることが出來ません。

天野先生の活辯ぶり

石岡處女會員　百合子

去る三月二十四日開會式を擧げました本會では、二十九日事業の一として、活動寫眞會を開きました、青年幹部の講習會へお出でになつた天野先生が「都に憧れて」を御話し下さるといふので、會員は勢込んで國文館に參りますと、もう皆さん來てゐらつしやいました。青年會の方も、村の有志も大勢見えられました。

寫眞は喜劇一卷、石岡町寫眞消防隊一卷、德川天一坊、其から最後が天野先生の「都に憧れて」といふ順序でムいました。「都に憧れて」は新聞雜誌にも出て居りみたい〳〵と思つて居りましたので、會員は手に汗を握つて見ました。石岡會長の開會の辭に次で先生は「私は活動辯士でないから下手だ」と仰言つてそれからお房の身の上から俳優となるまでの動機をお話下され、其から寫眞の御說明がございました。實にいゝ寫眞で私どもは、實に息をもつかずに見ました、東京の恐ろしいといふこともよくわかりました。最後のお房が野に出て働くところなど一同大喝采でした一寸御知らせまで。

『都に憧れて』美本となる

「都に憧れて」は各地からの希望に應じて今回美しい書物となつて發行されました、本誌にも一度出ましたが、すつかり書き直して、色香を新たにし、尙美しい挿畫十數枚を挿みましたので實際の活動寫眞をみるようです。定價一圓ですが本誌の誌友には特別にゑはがき一組を添へて送ります。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

懸賞 工夫文

題　風。處女。下駄。椿

賞

福島縣　倭文子

下駄の跡もない雨上りの庭に、紅椿が音も無く落ちて、やはらかい春風に机上の處女の友の頁がぱら〳〵とひろがへつた。

佐賀縣　諸岡波都音

早春の風は軟らかに、處女の誇りの黑髮を撫でた、彼女は輕く下駄を運んで墓地へ急ぐ、手には眞紅の椿を持つて、

賞外

岐阜縣　梶田とし子

春風そよ吹く廣野の原に、赤い鼻緒の下駄はき立てば、山の椿が微笑み迎ふ、實に野を守る處女の吾等が幸ぞ。

神奈川縣　金子愛子

下○駄○屋の君ちやんの風○邪は如何でせう、幸ひ處○女○の友も來ましたから、お庭の椿○の花をもつてお見舞に行かう。

山口縣　渡邊かれ子

風にふかれつゝ歩く女、椿を手にして行く女、皆處女會へ行くのであらう、こゝかしこに下駄の音がカラン〳〵と聞ゆる。

廣島縣　早川芳野

夕暮窓に寄り、處女の友を讀んでゐた、窓外には、椿の花が綺麗に咲いてゐる、弟は風呂場で下駄がないと叫んでゐる。

山口縣　宮本義子

毎日この谷で風もないのに落る椿を拾つたのも、大切な塗下駄流して泣いたのも一昔、そして處女といふ名に別れるも今しばし。

選外佳作

信濃　野菊子、宮城　白鳥、福島縣　日下芙美子、神奈川縣　中平萩子、栃木縣　山中とし子、香川縣　白蝶、宮城縣　夢路、岐阜縣　安藤さゝの、長野縣　藤松さく、群馬縣　楢本登久子、福島縣　土屋じの子、滋賀縣　中川とら子、福島縣　佐々木まさ江、福島縣　日黑きい子、福島縣　二瓶きのい、福井縣　池田無名子、福井縣　堀口フデ子、埼玉縣　今泉あさ子、鳥取縣　小原しげ子、靜岡縣　風岡富士子、東京府　田村百合子、岐阜縣　林チヨ子、北海道　內海千代子、三重縣　高本繁子、岐阜縣　島田彌生、山梨縣　井上益代、福島縣　佐々木二把子、島根縣　松田きく江、靜岡縣　牧田秋子、島根縣　山根ふさの、廣島縣　沖元聯子、岐阜縣　柴田きぬゑ

○工夫文について

第一回はどうかと思ひましたが、大變よく出來まして、一同おどろきました。殊に入賞のは非常の出來でした。第二回も振つて下さい。なるべく短くて奇拔のがいゝのです。

題　汗。酒。紅。魚。

締切　五月廿日

特別賞には、天野理事から「都に憧れて」のゑはがきを賞品の外に呈します。

○お斷り

三月號の考へ物の題は

輝ける二見ヶ浦の朝日かげ◎
天照る神の光り〇〇けり

が正しいのですが、活字の間違ひで、〇〇なりとなりました。所が皆さんは、みんな正しく、三重けり◎として答へて下すつた。所が四月號に答を發表する時、考へ物の係りの人が、三月號の題をみてそのまゝ三重なり△としてしまるました。三重なりではわけがわかりません。依つて此に訂正致します。

○私の村の處女會

香川縣三豐郡和田村　すみれ

待ちに待つた私の村の第八回處女會總會及び敬老會は去る三月二十一日午前八時、百餘名の會員が、母校に集つて、開會、會長の勅語捧讀、處女會員の君ヶ代合唱、模範處女の表彰、それより結婚退會者に紀念品を贈りました。三豐中學校の校長樣がお出になり「社會婦人の事業」を引きつけらるゝやうにして下さいました。午後は敬老會、七十歲以上の老人百九十名を招待して、處女會員は皆親切に老人を持てなし、「おしるこ」「お料理」等前日三十名ばかりの會員が一日がかりで、心をこめて造へた物を、處女會員のお給仕で進めました、老人方は大さう滿足して歸られました。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

處女文壇

（賞）

父なき子

鳥取縣　松本あき子

港町は年に一度のお祭で、今日を晴と着かざつた、老若男女は一種の興奮の爲に、はしやぎ廻つて春の一日を暮した。靜かな事務室から、硝子戸越しに今通つた若い娘さんたちの、後姿をザツと見送つて居ると、明子さんと呼ぶ聲がする。「えい」と答へながら上立ると横の受付口に靜子さんと美智子さんが微笑みながら立つてゐらつしやる。「あなたもお參りなさらないの」「えゝまだ退けの時間が來ないんですから、お先に」「では後から、待つて居てよ」カラ〳〵と下駄の響が遠ざかつて行く、ふと我に歸つた私は十八といふうら若い身を、黑い事務服につゝんで、働かねばならない私の身上を、つく〴〵考へて見た、嗚呼お父さんさへあつたらと知らず〳〵の間に涙が流れた。

評　お父さんさへあつたら……かういふ悲しい聲を發して泣く人が隨分多うございませう。

（賞外）

處女とのわかれ

福島縣　渡邊みつ子

氣立やさしく働きもののお靜さん、一生に一度の晴の日は、昨年の十二月でした友のよしみから招かれて參りますと、最早や御支度が出來て居ます、今まで無造作に束ねた髮が、素人の手で、高島田にあげられ、鍬とつた立派な身體は、手織りの黑羽二重の紋付に、糸錦の帶胸高にしめた姿は、何と云ふ氣高さでせう。

やがて村人に送られて、隣村迄一里半の雪の細道を、晴着の裾をとつて歩いて行かねばなりません、途中迄見送る爲め私共數人の友が後につきました、何時しか山路にかゝつて、兩方は枯木立の林が淋しく立つて居て、最早村境です私共は立ち止まつて「それではお靜さん此所で御別れしますわ御機嫌よう」「有難う」と云ふお靜さんの目には最早涙が一ぱいでした、かうしてお靜さんは「箱根八里はよう」と云ふ山彦の聲に送られて、永久に我村から、我處女會から、わかれて行くのでした、そして會から贈られた祝詞と白扇一對を持つて、社會の首途にと立ちました。

暮れ行く夕

北海道　太刀川たつ

キウ〳〵とまばゆい雪晴れの日も靜かに暮れて行く、

青磁色に淡い樺色を殘して、暮れた西東の空を眺めて、無限の思ひに沈んだ。此の平和な空の下には、今堪え切れぬ悲しみに歎いてゐる人もあるであらう。或ひは喜びに滿てる人もあるでせう。けれ共それも時計の針の進むにつれ、悲しむ人も喜ぶ人も、樣々に變つて行くのである。昔の恩師の君には今頃何をしてゐらつしやるでせう。

去年の今頃東京へ行つた友は何うしてゐるでせう。

奈良縣にゐらつしやる玉置先生は、何を考へてゐらつしやる事でせう。

北國の雪解の水の暖る頃には行きます、必ず昔居つたなつかしい地ですもの……との御文、御良人に死別れ三人の子供を育てゝお若いのに獨立なされる先生、女子の模範とも云ふべき先生、早くお目にかゝりたい、雪の解ける頃が待遠しい………フト氣がつくと、あの美くしかつた空の色は、ついの間にか消えて山の頂は薄墨色の雲におほはれ、淡く白く夕霞は山腰をかくした。

田舍の日暮

長野縣　伴在多津子

山も川も黃金色の黃昏時、私は異鄕の友達に送る書簡を携へて、我が家を出ました、細道傳ひに川邊の町に着く折しも、夕陽が紅黃色の光を放つて有明の山の端に沈まうとしてゐます、空は紅に燃えて、黑繪の如きアルプスの連山はその雄大な姿を紫色に染めて、手に取るやうに雲の上に浮んで見えました、人々は一日の勞働に倦みて我が家に歸へり、鳥も友呼び交はして、三々伍々西に東に各自塒をさして急ぐのでした

四邊は寂寥として音なく、聞ゆるものはザワザワと枯れ芦に吹きつける風の音、川岸をかすめる水のひゞきばかりであつた。さうかと思へば暮れかゝる空を、がー〳〵と鳴きつ答へつ綠黑な一つの群が北へ北へと流れて行く、大方雁の群であらうと、其の行方を仰いで見えなくなる頃、いづくの寺からか撞き出す鐘は音も淋しく四邊りの靜寂を破つた。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

處女歌壇

（賞）天

笛ゆゑに憂さもつらさもわすれけるめしひの人の哀れなるかな
群馬縣　對比地　こう子

評　めしひなるなげき悲しみ思ひみなこめて吹くらむ其笛の音よ

地

ぐさ／＼と一鍬ごとに新らしき土の香りの胸にしむかな
富山縣　大道　まつゑ子

評　靜かなる畑に立てる乙女子の打つ鍬の音貴かりける

とぼ／＼と牛の背に乘り山路を行くは何處の童なるらむ
福島縣　白井　とき子

評　馬子唄は遠き深山の炭燒のけむりの奥に消えてゆくらむ

（賞外）○美の部○

いとゆるう香の煙の立昇る祖父母の墓に春の雨降る
東京府　田村　百合子

よろこびの胸に湧く時何事も忘れてわれは高くうたひぬ
宮城縣　白　鳥

名も知らぬ小鳥なきゆく夕暮に死なんと云ひし君を思ひぬ
福島縣　河邊　芳枝

灯火は窓よりもれて若草は小川の岸に靑く光れり
岐阜縣　吉田　千代子

赤き椿その一片をそとかみて雲の流れに見入る我哉
鳥取縣　角　森　子

み佛の道を聞きにと行く今宵空は淸くも星のかゞやく
富山縣　宇田　燕子

花たばを諸手にいだく幼子の笑顔にゆるゝ春の風ふく
香川縣　石川　もと子

野に山に春の光りの立ち添ひて鳥はさゝなき花はほゝ笑む
長野縣　橋本　富惠子

亡き兄の求めし庭の紅梅は今年の春も咲けど匂へど
福岡縣　行徳　なをか

幼子とかすめる野邊に摘菜する乙女の顔のほの紅き色
岐阜縣　島田　彌生

靜かなるこの山里にたそがれの鐘の音淋びしゆく春の夕
福島縣　詩の花

幼子の手よりこぼれてせゝらぎにひら／＼と浮く櫻花かな
島根縣　赤　鳥

白雪の消ゆるまに／＼萠え出で、みどりにかはる去年の枯原
宮城縣　呼子　鳥

椽に出て衣をつくらふ眞晝間のあたゝかにして上着ぬきけり
岐阜縣　柴田　きぬゑ

思ひ出は悲しかりけり亡き友の今はかたみとなれるこの文
群馬縣　橋本　美代子

南國の友の玉章開く時涙こぼれて戀しさのわく
群馬縣　楢本　登久子

人の世の運命なりけり思ふまじと月さす窓に涙抑へぬ
岐阜縣　竹腰　よさ枝

妹の唄うたひつゝ麥を踏む畚門のどかに陽炎のたつ
靜岡縣　巴　子

機織りて今日も暮さん丸窓をのぞけば見ゆる遠山の雪
群馬縣　藤倉　きん子

繦子なる幼子の生傷故とへば胸に抱まつきすゝり泣くのみ
靜岡縣　風岡　富士子

軟らかき三月の風吹き渡るこゝ山里の梅さかりなり
群馬縣　大澤　芳野

叱られし愚かな我身悲しくてものをも言はで涙流せり
香川縣　白　蝶

うちむかふ鏡にうつる影さびし悩みある身は面やつれして
鳥取縣　松本　あき子

歸郷せし兄を圍みて珍らしき都の話聞く夜うれしも
千葉縣　鵜澤　えい子

うらゝ日に午砲耳にして家に入ればお茶の香りのゆかしかりけり
神奈川縣　小菅　柳美

○良の部○

せのびして、姉さん大きくなりけりと丈くらべするいとし弟
長野縣　月見　草

夕されば村のわかもの集ひきて引く三味の音の雨にひゞきて
靑森縣　岩井　峯子

ぼんぼりの光の淡き桃かげに祖母のかたみの雛もほゝ笑む
山口縣　宮本　巍子

離れたる姉を思ひて書く便りつきせぬ筆は尋に餘りて
長野縣　松ヶ枝

小夜ふけてぬくき雨降りころ／＼と蛙の鳴けば去年の思ほゆ
福島縣　土田　かつ子

母上は不治の病と我は聞き幼心に神に祈りぬ
愛媛縣　水沼　森磨子

山を負ひ海にのぞめる磯小村冬暖かに梅さかりなり
千葉縣　松本　津計女

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

名も知らぬ草花つみて幼子の長閑に遊ぶ春日和かな　無名女

朝まだき笹の葉ならす春風に小鳥も夢をさます山ケ家　神奈川縣　山口孝子

思ふことのなかばも言はで淋しくも友と別るゝたそがれの道　神島縣　土田登美子

さはやかにふく春風を背にうけてかまを手にして歸る乙女子　滋賀縣　田原しづ子

美しき椿手折りて亡き父の墓に手向けむ今日のこの日に　群馬縣　姫百合

六十路なる母の肩もむこの夕べ肉のやつれに涙ぐまれぬ　京都府　山内ふさの

針もてばいつしか知らず眠りつゝ庭の葉櫻うつとりと見る　鳥取縣　角幸子

去年のびし梅の小枝を捧げつゝ母のみ墓の前にぬかづく　埼玉縣　岡田保市

春雨の降る野を見れば雪消えてみどりの小草萌え出にけり　宮城縣　野菊

なつかしき我古里に歸り來し弟の笑顔見るがうれしき　滋賀縣　野矢花子

春雨の降る夕ぐれに妹と歸る野中の道の淋しさ　埼玉縣　岡田かれ子

春雨にいつしかやみて遠方の山邊に見ゆる花の白雪　福島縣　小野しげよ

れんげ咲く野邊に明るき陽をあびて友とわかるゝ心淋しき　鳥取縣　松本輝子

春の夜にいとかすかにも尺八のひゞきあはれに聞えけるかな　群馬縣　野菊

春の野に遊ぶ幼子草花を見出てほゝ笑み走りゆくなり　香川縣　香西こゆき

春雨に一人机にもたれつゝ遠きわたりの友を思ひぬ　東京府　森川光平

いづこより手折りて來しか妹の小さき手に持つ山吹の花　神奈川縣　糸柳

嬉しくも家に父母あり兄ありて樂しく暮し日々に働く　福島縣　小紫房野

病上りもの憂きまゝに出し野のそよ吹く風に櫻花ちる　東京府　岡部秀子

水仙の花咲く冬の光弱く淋しく立てる我を照しぬ　長崎縣　今里知子

幼子の小さき臉に目をとめて膝に寄り來る愛らしきかな　岐阜縣　梶田とし子

○佳の部○

乙女子が袂背にしてまりつける櫻花さく庭の靜けさ　長野縣　守屋ほの惠

今日一日なれども母が病みてあれば淋しく友をうらやみて見ぬ　愛媛縣　惠美

いまた見ぬ友の惠みし玉章を開けばかほる梅の一ひら　長野縣　きゞく

野も山も雪はあとなく消え果てゝ芽ばえうれしき野邊のをちこち　福島縣　吉原きづ子

雪とけて春は來にけり我が里の赤き夕日に姉を思ひぬ　岩手縣　菊地紫子

かくまでも僞り多き世なりとは知らで過ぎけり廿一のわれ　福島縣　齋藤いち子

亡き父の世にありし日を思ひ出で心せまりて涙ながるゝ　滋賀縣　河上かれ子

よき布の出來ばえいのり織布を神にさゝぐるみ社の前　群馬縣　柳岡いく子

雪消えぬ我が住む里の朝ぼらけかすかに聞ゆうぐひすの聲　長野縣　小春

裏庭にほころびそめし桃の花雛の節句を待ち顔に見ゆ　香川縣　出牟壽美子

野歸り手折りてそなへんつくしをば昨日かざりしやさしきひなに　鳥取縣　胡蝶

女てふ名は弱くして悲しかりれたみの心湧き出でゝ來る　長野縣　白菊

まひらする花の香りはうすくとも春の心を君よ知りませ　福島縣　白百合

家人が優しく强く働きて、眞面目なるこそ我國のもと　埼玉縣　大舘伊都子

春の日の野邊の小道に若菜つむ乙女のすがたあちこちに見ゆ　滋賀縣　奥村やす子

雜木林中のくぼちの日あたりに一本まじり梅の咲きけり　滋賀縣　田原とき子

母よりもなつかしみける子を殘し、遠く行く師の心淋しからむ　群馬縣　池田紫子

母の背にねむる幼子目さめなばとりてあたへむたんぽゝの花　東京府　井上こう子

古里の父母を慕ひてよもすがら眠られぬ夜を月は照しぬ　愛知縣　鈴木吉野

春の野にもゆる若葉をふみわけてたづねても見む鶯の宿　千鳥

あやふげに步む隣の幼子を母よ見給へいとしからずや　愛媛縣　佐野やすゑ

皆さんにお願ひ

處女の友の讀者は皆正直な方ばかりであると信じます、それですのに外の雜誌からとつた歌を投書なる方があるのは誠に殘念ですどうぞ本當の心から出た歌を見せて下さい。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

處女俳壇

（入賞）

赤襷ちら〱動く桑畑　岐阜縣　山　百合
（住所姓名お知らせ下さい）

まゝごとのむしろを吹くや春の風　栃木縣　山中とし子

紅椿糸につるした花輪かな　岐阜　林　ちよ子
洋傘の塵おとしけり春のくれ　宮城　白　鳥
春雨や四國遍路のたび衣　香川　石川もと子
春風や裏の小川の水温む　宮城　呼子鳥
古びたるわら家の軒に梅かほる　福島　詩の花
縄なひをすまして風呂たく山家哉　北海道　萩原千代子
芝草の中に目立てるスミレ哉　埼玉　大川韻子
静かなる雨の一夜を蛙鳴く　千葉　松本津計子
街燈の灯のかげ淡し雨の朝　東京　田村百合子
鍬持てる吾が手太りて春老ひぬ　福島　河邊芳枝
春の水白馬の口を嗽ぎけり　福島　齋藤いち子
春雨や静かに暮るゝ片田舍　長野　橋本喜惠子
賤が家に春を知らする蝶一つ　愛媛　水沼壽慶子
夕もやに森かげうすし春の鐘　福島　土沼たま代
菜畑に乙女をさそふ胡蝶哉　鳥取　胡　蝶
物指でふと散らしけり床の花　福島　土田かつ子
畑打つと鍬もち出れば友來る　香川　白　蝶
長閑さや子に誘はれて花を摘む　千葉　鵜澤江い子
老松の梢に小さき鳥の鳴く　静岡　風岡富士子
布團干す屋根に水仙の鉢並ぶ　富山　大道まつゑ子
春雨の音静かなり村はづれ　静岡　巴　子
廣き野に友と語りつわらび狩　東京　森川光平
乙女等の唄聲高し春の野邊　鳥取　杉本輝子
つれ〲と病む身は長し春一日　長野　野菊子
打返す鍬に餘寒の蛙哉　福島　横山節子
我庭に紅き椿の笑ひ顏　香川　安西てる子
月の夜に堤歩けば水に影　福島　白井とき子
祭らんと蓋をあければかたは雛　高知　藤　枝
山里に咲きし紅梅二つ三つ　福島　山下きやの
梅ケ香に昔を問へば春の月　滋賀　安井みつ子
春の日を麥ふむ若き女かな　鳥取　松本みどり
汗ばみし身を一休み木の葉影　島根　赤　鳥
小春日の森に落葉の匂ひ哉　長崎　今里知子
小雪降る猫の泣き聲夜寒哉　福島　宮田登代子
春の海藁積む船の帆の高さ　鳥取　角　齋子
女一人子供一人や花の宿　愛媛　今井しげ子
蝶追ふて緣より落ちし子猫哉　福島　土田登美子
菜畑を上に下にと舞ふ胡蝶　福島　小黑かつ子
桃われの乙女となりき酉の春　群馬　池草しげり
静けさや梅の花散るおぼろ月　神奈川　山口孝子
花嫁もぬすみ見に來る櫻哉　岐阜　梶田とし子
冬の日や洗濯もののうすじめり　神奈川　金子菊子

投稿の規定

（作文）
題　私の好きなものと嫌ひなもの
　　遠國の友に
三十字詰　十六行以内用紙半紙

（和歌）
題　随意　一人三首以上用紙ハガキ又は同じ大きさの厚紙

（俳句）
題　随意　一人三句以上用紙ハガキ又は同じ大きさの厚紙

（習字）
半紙一枚に字數随意

（圖畫）
少女の繪、景色畫用紙ハガキ又は同じ大きさの厚紙

投書の注意

（一）一つ紙又はハガキに幾種類も書いて投書なさる方があります、これはずいぶん編輯部の迷惑になりますから、どうぞ別々の紙に書いて、和欧、俳句考へ物誌友くらぶ等明らかに書いて下さい、編輯部に對する親切をもつて。

（二）投書をなさいますのに、郵便切手を上手にお使ひになる事を御注意申します、例へばハガキ大きさの原紙に別々に書いても、二種類も三種類も投書する時、同じ封簡に入れて、開封にすれば二錢切手一枚ですみます、わざ〱別の端書に書いたり三錢切手を貼るには及びません。

（三）締切は毎月十日、宛名は東京市本郷區元町二ノ六六處女の友發行所

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

誌友くらぶ

一人一信限りハガキに限るおくれた方は次の月

△凡て草木の萌ゆる光景は生氣に充ちて快いものであります。春の惠みに萠え出る若芽のやうに、處女會もすく／＼とのびて行きます。處女の友の誌友の皆樣の月日に目立つ發展ぶりが嬉れしくてなりません。皆さんお互ひにもつと／＼伸び／＼した氣分で思ふ存分、人生の春を樂しく過し、美しい社會を作る事に心がけやうではありませんか（記者）

○淋しい家には春は參りました。記者樣始め誌友の皆樣御變りありませんか、不束な私も御誌の愛讀者です、末永く淸き誌上でお導き下さい。（福島縣耶麻郡長瀨村大字川桁　渡部みどり）

○天野先生初め諸先生お變りはございませんか、毎號有益なる處女の友をお送り下さいまして、有難く感謝いたします、愛知の小石かつ子樣島根の石川秀温樣幾久しくお交りを願ひます、（滋賀縣　田原しづ子）

○私が誌友となつてから、滿一ヶ年になります、其内先生の御盡力の程よくわかり感謝してゐます誌友の皆樣よろしくお導き下さい（岐阜縣武儀郡上麻生村　山百合）

○私はこの三月から處女の友の愛讀者となりました、誌上の皆樣何卒お交り下さい、吉田千代子樣安藤さゝの樣同縣でおなつかしうございます、不束な私をお導き下さい（岐阜久子）

○記者樣誌友の皆樣お變りありませんか、私は壹岐の島端に住む處女でございます、本年二月からの愛讀者ですが、有益な記事ばかりで、樂しく拜見して居ます、どうぞ永遠に御指導下さい、（長崎縣壹岐郡那賀村佐々木靜江）

○私は七宗山の麓に住む一處女ですが、本年二月より愛讀者となりました、何とぞよろしくお願ひ申します、誌友の皆樣御身御大切に、（岐阜縣武儀郡上麻生村井戸朝枝）

○記者樣、私は片田舍に住む處女會員でございます、誌友の皆樣お交り下さいませ、天野先生一月は我が村に雪の中をおいとひなく、お出下さいまして、强くやさしく眞面目に働けとのお話、實に身にしみて厚く御禮申上げます、（岐阜縣武儀郡上麻生村　加藤はづゑ）

○だん／＼暖くなりました、諸先生始め、誌友の皆樣御變りありませんか、私の村でも「處女の友」愛讀者がたくさん出來ました、どうぞよろしくお導き下さい、（埼玉縣北埼玉郡騎西町　岡田春風）

○私は處女の親友として、本誌程よいものはないと思ひます。私の學校の後には、鮎の名所の都幾川が流れ、その又近くには、甲斐の身延や池上本門寺と並び稱せられて、日蓮上人の木像のある妙昌寺があり、十町程離れて、關東一の眺望だと田尻子爵や本多博士が、お賞めになつたつゝじの名所岩殿山があります。（埼玉縣比企郡神戸小學校内　長島雅子）

○私は小手指村の一處女でございます、天野先生先日はお忙がしい中をお出で下さいまして、ほんとに嬉しうございました、私は先生の「つよくやさしくまじめに働け」についてのお話を、實に心づよく感じました今後よろしくお導き下さいませ、（埼玉縣入間郡小手指村北野　大舘たけ）

○私は昨年七月より、御誌の愛讀者となりまして、處女の友を無二の友として居ます。有益な記事によつて農事の傍ら修養してゐます。「つよくやさしくまじめに働け」の尊き御言葉あゝ私等は如何なる事があつても、此のありがたきお敎へを守らればなりません、（京都府下天田郡中六人部　山内ふさの）

○春の景色となりました、いつも變らぬ中央部の諸先生の御敎へに、小さき胸が高鳴ります。何とぞ幼き妹をよろしくお導き下さいませ、（島根　土江とみこ）

○暖かくなりました、皆樣お變りありませんか、私は田舍に住む處女であります、二月より處女の友の愛讀者となりました、皆樣よろしくお願ひいたします、（岐阜縣武儀郡上麻生村　古田そで）

○マンドリン鳴らしつあれば思ふと涙となりてながれ出しかな、K樣よく歌つて下さいました、決して忘れはしません、永久に……山下惠美

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

子様つてどなた、何卒御住所細かくお知らせ下さいお交り下さいますこと深くお禮申上ます、（岐阜縣加茂郡西白川村中川今井紫男方　竹腰よさ枝）

○三月號拜見して諸姉様の相も變らぬ誌上に御賑ひの御様子實に嬉しう御座います。暫く御無沙汰しましたがこれから又頻りにおたよりしますからよろしく、樂しき思ひ出多き春も半ばとなりました、皆様御元氣にお過し遊ばせ、（群馬縣　美峯）

○たかな様、愛子様、御變りもなく、おすごしの事と存じます、今後も何卒よろしくお願ひ致します、福島の小柴房野操島根の照部千代子様、三月號にて、お言葉ありがたう存じます、至らぬ妹をよきにお導き下さいませ、（島根　ふさの）

○記者様始め皆様お變りありませんか、毎號有益な處女の友をお送り下さいまして、有難う御座います、始めて御便り致しましたが何卒よろしくお導き下さい、（阜縣武儀郡上麻生村　土屋よきゑ）

○誌友くらぶも大變にぎやかになりましたれ「私はあなたをもつと老人と思つた」天野先生の仰有つた坂の東村處女會長島田先生は、私も、もつとお老人と思つて居ましたの、坂の東の皆様、柴田先生なき其後如何、折角お振ひ遊ばせ、（南信の里にて　さくら）

○大變暖くなりました、私は福岡の片田舎に住む處女で御座います、倉富様といふ私の親友の方に送つて頂いて始めて御誌のある事を知つて、二月號より愛讀者となりました、誌上の皆様お交り下さい、（福岡縣浮羽郡水分村小田　行徳なをか）

○私は毎日〳〵處女の友の來るのを、樂しみに待つて、働いて居ます記者様私は一生獨身生活をしやうと思ひます如何でせうお答へ下さいませ、（神奈川縣　のぶ子）

△まあ飛んでもない、人と生れた以上、結婚は最も大切な事で、重大な人の道であります。極く少數の人は、止むに止まれぬ事情で、血に泣く思ひをして、獨身生活をするのです、云はゞ獨身者は不具者です、あなたはその不具者の仲間入りをする程まで、深い事情がおありになりますの、若しさうでしたら考へるだけ考へませう今少し細々と書いて下さい、（記者）

○なつかしい春となりました、誌友の皆様は、活々した態度で、御勉強なさることと思ひます。私も本誌で勉強しやうと思ひます、諸姉様お手紙下さいませ、小原しげ子様小林卷代様、愛知の今井しげ子様御交際を願ひます（鳥取縣西伯郡中濱村字麥垣村　角蔡子）

○私は南國の土佐に住む一處女です、私には何のたのしみもありません、たゞ處女の友を讀むのが樂しみです、皆様處女の友の爲に大いに盡ひませう、（高知縣一處女）

○私は滋賀の一農家に住む處女でございます、昨年の十一月から處女の友の愛讀者となりました、誌友の皆様どうかお仲間入りさせて下さい（滋賀縣蒲生郡市邊村大字布施　井田さゝの）

○平和な里に春は訪れて參りました、まあ何といふ長閑な朝でせう、氣も魂も浮き立つやうな朝の空氣を破つて、ホウホケキヨと可愛らしい聲が……平和な野に育くまれた身を感謝します。群馬の對比地こう子様おなつかしう存じます、おやさしいみ言葉お待ちしてゐます、（群馬縣堀越寡野子）

○先日は本をお送り下され、實に有難く存じます、今迄になく、處女の友を讀んでから、大變心持が張りつめたやうで、家にて母の手傳ひ致すのも嬉しう思はれます。（岐阜縣袖川村　宮前ツヤ）

○私は伊津の里に住む一青年です、本誌愛讀者諸姉純潔な心の響を誌友くらぶでうれしく拜見して居ます、愛讀者の皆さんよ、私共は常に精神的に向上し、亂れゆく人道の爲に正義の楯となつて進まなければなりません、（阿賀川沿岸にて　曉星）

○私は伊勢崎織物を産出する、機業家で有ります、織物作るに、遠地方の處女を相手にする、商賣ですから、盛んに處女の友の愛讀者を多くしやうとつとめてゐます、（埼玉縣佐波郡島の郷　内山幸四郎）

○天野先生私は今年二十歳になりました、三月結婚の話が出ましたので私は二十五歳迄は結婚は無さないといひましたが、如何致したらよろしうございませうか、（鳥取　中濱の一女）

△二十五歳まで結婚をしないと仰有るには、何か確乎した理由がなければお答へ致し兼ねます、（あまの）

○のどかなシーズンとなりました、皆様之から野に出て活動するにふさわしい時で本當に樂しみですわネ、宮城の愛子様たかな様福島のきく子様御無沙汰してすみません、消い誌上でみやさしいお言葉、お聞かせ下さいませ、（滋賀縣蒲生郡市邊村布施　中川とら子）

○毎號皆様のうるはしいお作を拜見する度に、お羨やましくてなりません、片田舍ですが周圍はすべて、自然の詩につゝまれてゐます。文才のおありになる、宮城のあい子様や香川のつや子様、和歌山のえい子様等が此の地にいらつしやつたら、どんなにが佳いお作をお見せ下さいませ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

に、……（群馬縣　對比地こう）

○誌上の姉上樣、今後お指導下さい、鳥取の小原樣御通信下さい、（鳥取縣西伯郡　麥垣久子）

○野も山も霞立ち、花鳥の風情日毎に加はるこの頃、先生始め、誌上の皆樣お變りありませんか、私は和歌山縣の一愛讀者です、どうぞよろしく、同縣の石非えい子樣おなつかしう御座います、（和歌山縣伊都郡信太村大字借峨谷　福塚タエ）

○私の一番好きなれぐさんや名古屋嬢等、朝早くから歌ひます、ほんとに自然の天地、長閑な田舍を思はれます、神奈川の小管伊太郎樣、山形萬太郎樣も愛讀者ですつて、私は帝國青年の愛讀者ですが記者樣よろしいでせうか、（新潟縣　小杉葉文）

△帝國青年は處女の友のお兄樣です、お互ひに仲よくしませう（記者）

○私は二月號より本誌の愛讀者となりました、天野先生を始め、諸先生の有益なる記事、誠に嬉しく御禮申します。何淸き誌上にてお導き下さるやう幾重にもお願ひ申します、（岐阜縣武儀郡東武儀村　恩田しか）

○島根の石川秀温樣、群馬の橋本登久子樣、對比地こう子樣、かげながらお慕ひ申して居ります、この幸うすき子にも溫き皆樣のお交りを願はれましたら、どんなに嬉しい事でせう、岡田保市樣、森川光平樣、小菅伊三郎樣、私等處女を理解して下さる方のあるのを感謝します、（福島縣猪苗代湖畔　詩の花）

○誌友の諸姉樣私も三月號より、處女の友愛讀者となりました、どうぞ妹と思つてお交り下さい、諸姉樣の健康を祈ります、（神奈川縣津久井郡内郷村　江藤梅乃）

○私は昨年の八月、親友に初めて御誌を見せられました、それで十二月より毎月愛讀いたして居ます、今月始めて工夫文を作つて見ました、今後はどん／＼作つてお目にかけますから、よろしく願ひます（福島縣安達郡　侫文子）

△どん／＼投書なさいませ（記者）

○誌友の皆樣、今度クラスメートの小澤やちよ樣丸山さだ江樣のお二人が新らしくお仲間に入られましたから、よろしく願ひます、哀涙子樣詩の花樣、橋本登久子樣まだ見ぬ君乍らお慕ひ申して居ます、どうぞお交り下さい、（信濃　白菊）

○記者樣、私は會津磐梯山の麓に住む淋しき片田舍の處女で、一號より本誌を友として、毎日樂しく暮して居ます、記者樣始め皆樣何卒お導き下さい、（會津磐梯山下本寺　鈴木ひさゑ）

四月——糸柳の風にゆる、河邊に家鴨が群れ、麥がすん／＼延びる田には、農夫の鍬が光ります、四月がまゐりました、（岐阜縣武儀郡吉田村　吉田千代子）

○川越きみ子樣一寸誌上で拜見致しました、同縣でおなつかしうございます、おさしつかへなければ、お交り下さいませ

貴女樣の御妹樣ほんとにお氣の毒ですもの、私共に泣きましたの、誠に失禮ですが、誌上でお住所おしらせ下さい、（宮城石越　富塚ときわ）

北海道　太刀川タツ子筆

○諸先生、皆樣御健康でいらつしやる事と、お祭し申します、會の發展並びに、諸先生、誌友の皆樣の健康を祝します、（福島縣片門局區内　大井千代子）

○しづかに暮れゆく田園の嚴肅さ！、宵闇の中に佇んだ私は、感謝の念に祈らずにはゐられません、こんな時ひたすら誌友の皆樣か戀しいのでございます、どうぞお交り下さいませ、（群馬縣佐波郡剛志村　大澤芳野）

○記者樣初め、誌友の皆樣には、お變りもございませんか、私は昨年の十二月より御誌の愛讀者になりました、毎月有益な御誌を唯一の友としてゐます、（福島縣大沼郡西川村宮下　齋藤いち子）

○淋しい小さな町の一處女でございます、私も二月號より御誌の愛讀者となりました、何卒みなさん淸い誌上でお導き下さい、（福島縣田村郡三春町　津木子）

○私は名高い石老山の麓にすむ、淋しい一處女でございます、神奈川の山下恵美子樣御なつかしう存じます、誌上で御見捨なくお導き下さい（神奈川縣津久井郡石老山下　山口あい子）

○處女の友子さんによつて、みやさしい姉樣に、お交りの出來ますのが、何より嬉しく存じます、鳥取のしげ子樣、私こそどうぞ香川の田岡美津子樣お言葉有難う、三豐郡何村ですの、同縣の月見草樣お處と御本名お知らせ下さいませ、（香川大野原　白蝶）

○記者樣初め誌友の皆樣お變りは御座いませんか、私は今年の一月から處女の友の愛讀者になりました、皆樣よろしくお願ひ致します（香川縣木田郡氷上村　安西てる子）

○「悲しめるものは幸なり、そは慰

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

めをうくべければなり」、おやさしいみなさまに、いつも感謝の祈りを捧げて居ります。天野先生と處女の問答身にしみて拜見いたしました、これから私も自分の名に恥ぢないやうに心がけませう、(白鳥)

○信州の高原にも春は參りました愈々私達の野に出で、活動すべき時期がめぐつて來ましたネ紺の雪袴に身も輕々と、なつかしい皆樣お互ひに働きませう(野菊)

○私は三月號より誌友となりました、どうど記者樣諸姉樣御導き下さいませ、(靜岡縣磐田郡浦川村　早川とも子)

○「處女の友」皆さん何んと優しい字でせう、私は本年三月より、御誌の愛讀者となりました、記者樣皆樣よろしく(埼玉縣　關口好子)

○記者樣誌上の姉樣には如何お慕し遊ばされますか、お伺ひ申します有益な處女の友をまことの友として樂しく暮して居ります、(島根縣簸川郡灘分村　多田和菊野)

○記者樣先日はきれいな繪葉書ありがたうございます、繪葉書の人なる木又金のなる木の樣に、私もなりたいと思つて居ます。記者樣何とぞ私のために、祈つて下さい(東京市本所區押上町二八二　木村さよ)

○私は信濃高原の山間に住む、一處女であります、望月ささを樣にお知らせて頂いて、四月號より愛讀者となりました皆樣よろしく(長野縣東筑摩郡五常村　小澤やちよ)

○私どもの一番たのしい春がきました、あの美しい櫻も、ちらほらと咲きました、私は本年の一月號より處女の友の愛讀者となりました、清い誌上でお導き下さい、(神奈川縣野菊)

○端午の節句も近づきました、宮城の愛子樣、長野の山田樣、埼玉の岡田、原田、今泉樣其後は如何、同村の岡部秀子樣おなつかしうございます、(東京府檜原村　森川光平)

○記者樣私が處女の友を知りましたのは、昨年の五月今は世に亡き星野まさ子樣のおすゝめで、此有益な御誌によつて、新知識を得る事が出來ます、毎號お睦まじい誌友の皆樣の、お奮ひ遊ばす御樣子を拜見して、私もお仲間に入れて頂きたうございます、今後よろしくお願ひ致します(群馬　美代子)

○春――一番華やかなシーズン、諸姉樣大いに努力いたしませう、富塚樣、牟岐樣、橋本樣、對比地樣二階堂樣、近藤樣、柳岡樣、岡崎樣、山下樣石倉樣久しい御無沙汰、御免下さいネ(利根河畔　ゆめみぐさ)

○御熱心にお導き下さる記者先生のお敎へを守つて、一心に働いて居ます、四月號の誌上で、記者樣より意外のお言葉を頂き、勿體なさに、淚が頰をつたはりました、(群馬縣藤倉きん)

○眞先に發行日を早くして頂いて嬉しうございます、先生、小さい時から私は音樂が大好きで「苦學してもいゝ」なんて、樂壇に憧憬してゐた私は、處女の友に救つて頂きました、土の香に抱擁されて、大自然の音を聞く時、感淚に咽ぶ子は勝利者です、(群馬縣佐波郡　橋本登久子)

○私は一昨年の暮から、處女の友に親しんでゐます、私の村はまだまだ雪が殘つて居ます、早くこの雪の消えるを待ち、花に小鳥に自然に親しみながら、毎日樂しく働くのを今から樂しみに待つて居ます。(福島縣大沼郡沼澤村　若林たまの)

○私は淋しき田舍に、鳥の聲を友として暮す、乙女であります、本誌に同縣の皆樣の御活動ぶりを、心强く思ひます、同じ村の須田歌子樣、お奮ひ遊ばせ(福島縣伊達郡靑木村谷城内　佐藤八重子)

○さびしい田舍にも、樂しい春が訪れて來ました、其後先生にはお變りありませんか、大堀美尾子樣御無沙汰致しました、誌上で、有難うございました、滿洲の谷口樣、宮本樣、宮福樣、度々お慰め下さいましてうれしう存じます(福島縣　笠原ふじ子)

○鳥取縣の小原しげ子樣いつも御熱心で、うれしうございます、直接心をこめた御文通も致したうございます、それから中川とら子樣は浦生群市邊村ではありませんか、貴村は我村と共に縣から表彰された、靑年團のある村ですれ、貴女の村にすら、雜誌を見ると生意氣だなんて、申しますかどうか、そんな人の眼を早く覺めさし度いものですネ(滋賀縣神崎郡八幡村　本持喜代子)

○先生嬉しい事が二つ出來ました一は發行日の早くなつた事、一は鳥取に誌友の多くなつた事、嬉しくて一人はしやいで居ますわ、米田つろ子樣過ぐる日はなつかしいお寫眞、並びに名所繪葉書たくさん有りがたうございます、高本鈴子樣、田岡美津子樣、以後よろしくネ香川の白蝶樣有がたう、時折はお便りを、宮城の白鳥樣のお考へ大贊成です、記者樣私からもお願ひ致します(鳥取縣胡蝶)

○誌友の皆樣お變りありませんか無智の子ですけれどお交り下さいませ、さらば皆樣お健やかに(長野　きよく)

○記者樣私は淋しい田舍に住む一處女であります、伴多津子樣のおすゝめにより、四月號より愛讀者となりました、どうぞよろしくお導き下さい(信濃　丸山貞江)

○私は一月號より本誌の愛讀者と

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

成りました、毎月お寫眞や有益な記事を嬉しく拜見致して居ます、記者様初め、誌友の皆様お禮に何か一つ記事を作り度いと思つて居ますけれど、不才の私ゆゑ、出來ません、どうぞ末永くお交り下さい（香川縣木田郡氷上村　白井みつ江）

○乙女の心も自然に浮き立つ時、皆様いよ〳〵御機嫌よう在す事と存じます、牧田秋子様、片平乙壽様、同縣同郡でおなつかしうございますお交り下さいませ、角美千子様お變りありませんか、（靜岡縣菴原郡内房村風岡富士子）

○記者様私はさびしい田舍に、毎日平凡な生活を續けて居ります。私はやはり田舍で有益な處女の友を友として、今の境遇で暮さなければならないのでございませうか（一處女）

△その平凡な中から心の幸福を見出して下さい（記者）

○越中の片田舍の一少女です、私の兄たちが發行して居る「べに輧」に本誌上に見ゆる土屋さんや、浦松さんや、宇田さんが入社してゐられますから、私も愛讀者となりました、みなさまよろしく（富山縣下新川郡野中村　大道松枝子）

○私は男の方の誌友なる事には失禮ながら反對です、男には男の讀みものがありませうに、何故反對致すか、御賢察下さい、誌友の皆さんの御意見は如何ですか（反對の子）

△さあどうしたらいゝでせう、誌友くらぶは皆さんの領分です、どん〳〵意見を發表して下さい、記者も考へませう、（記者）

○記者様私は會津の片田舍に住む一處女であります、皆様どうぞよろしくお交りを願ひます、記者様御體をお大切に（福島縣河沼郡新鄕村西羽賀　齋藤なを子）

○お正月の處女會の際校長先生から處女の友を紹介されて、それから愛讀者になりました、こんな良い雜誌の有つた事を知らなかつたのが、殘念でした（福島縣河沼郡上野尻村土田春枝）

○諸先生様始め誌友の皆様、故里遠くはなれて、小さな田舍町に住む一處女を淸き誌上でお導き下さい（福島縣　松雙月子）

○質實な中に趣味あふるゝ、毎月の本誌の記事は、とても他の雜誌に見られません、天野先生どうぞお導き下さい、（福島縣河沼郡上野尻村土田かつ子）

○私は本書に幸福者、かれてから願つて居ました、身體のある限り、力强いものを、處女の友に依て正しく得させて頂きました、誌友の皆様共にお悅び下さいませ（岐阜縣加茂郡　桑原愛果）

○誌友の皆様、私は相模の片田舍に、本誌を唯一の慰安として淋しく生を送つて居る一處女です、よろしくお導き下さいませ（神奈川縣高座郡相原村　熊坂みどり）

○私は飯能在の一處女です、農村女子の讀物にふさはしい御誌を愛讀して、少しなりとも向上發展に心掛けて居ます、皆様よろしく（埼玉縣入間郡岩淵　岩崎とき子）

○處女の友の破格の御發展ぶり陰ながらおよろこび申し上げますそして有益な記事ばかりおのせ下さる御誌に感謝してゐます、（猪苗代町九軒町　荒川はる子）

○記者様始め皆様お變りなき事と存じます、萠え出る若草と共に、おろかな私をお導き下さい（京都府竹野郡間人村　木下とよ）

○希望にみちた春はこの田舍にも訪れて來ました、私共はどこまでも、まじめに働くつもりで居ます、皆様お導き下さい（福島縣大沼郡三谷村河邊芳枝）

○私は四月號より本誌の愛讀者となりました、どうか皆様よろしくお導き下さい（福島縣大沼郡中ノ川村砂子溫泉　原ヤチ）

○一寸お聞きしますが「日本の名婦と花」といふ所に、名婦の名の側に花の名がありましたがどういふ譯でせう御敎へ下さい（福島縣南會津郡大川村　平野光子）

△歷史に現れた所の名婦の行狀なり境遇なりを考へて、その生涯にふさはしい花を當てはめたのです（記者）

○投書の規定及び注意をくわしくお知らせ下さいませ（長野縣下伊那郡大鹿村　前島梢）

△本號五十頁を御覽下さい（記者）

○香川縣の諸姉様東讚岐に淋しく暮す妹を可愛がつて頂戴ネ（香川縣　小竹芳枝）

⊙私は靑年ですが大野先生のおすゝめで本誌を愛讀することになりました（岐阜縣武儀郡　梅葉）

○誌友の今泉様當方の處女會は、まだ御報告するまでに發達してゐません、二階堂様、牟岐様、鍋井様いつもみやさしい御文有難く御禮申上げます、（京都府何鹿郡志賀村　谷岡節子）

○天野先生三月號にお書き下さいました「井戸の蛙とそしらばそしれ花も散り込む月もさす」の御一言に深く感謝します（京都府　福井そよ）

○今年一月より有志六名と共に誌友のお仲間に入れて頂いて居ります、どうぞお交り下さい、長尾様同郡でおなつかしうございます（長野縣諏訪郡金澤村　丸山初江）

○宮城のあい子様、たかを様、埼玉の原田とよ子様、福島の生江哀涙子様お細々との御言葉有難うござい

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

ます、(埼玉縣北埼玉騎西町　今泉あさ子)

○この四月には仙臺に博覽會がありますから、どうぞ皆さんお出下さい、小原樣、橋本樣、渡邊樣、栃津樣如何ですか、(宮城石越　野菊)

○私は昨年十月より本誌の愛讀者となりました、お便りするのは今度始めてゝすよろしく(岐阜縣　鈴村八代重)

○西川村の森田しまよ樣同郡でお懐しうございます、私の村に貴女樣を知つて居る人が澤山あります(福島縣大沼郡横田村　横田都)

○天野先生先日は有益なお話お聞かせ下さいまして、有難く存じます、(神奈川縣高座區大澤村大貫なか子)

○新潟縣の小杉葉子樣先日は御親切な御手紙有難く拜見いたしました私方は淨土宗です(島根縣　石川秀温)

○私は十六歳の尼僧ですがどうぞ皆樣御指導下さいませ(長崎縣西彼杵郡三重村　今里知子)

○私共やさしき處女は勇ましい青年に負けぬやうに修養いたしませう(長野縣山本村　鹽澤みつほ)

○私は本年三月より御誌の愛讀者となりました、田舍者ですがどうぞお交り下さい(神奈川縣津久井郡一處女)

○おなつかしき土沼玉代樣、淸き誌上でお導き下さい、同級の八子樣荒川樣この後ます〱おふろひ下さい(猪苗代　淺川みさ子)

○私は一ヶ年も處女の友を手にして居ながら、一度もお伺ひせず、失禮しました以後よろしくお願ひ致します(香川縣三豐郡柞田村　秋山)

○四月號には私の和歌をお載せ下さいまして、賞品まで頂き厚く御禮申上げます、(鳥取縣　染谷あや子)

○處女の友の皆樣、盛んな投書ぶり拙いながら私もお仲間入りしますと乘り出した私、どうぞよろしくれ東京の柴田芙蓉樣お慕ひ申して居ます(廣島縣　森百合子)

○淸水うた子樣御葉書有り難う、柴田たつ子樣卒岐あい子樣おなつかしうございます、(東京市外中野町二〇五〇　柴田ふよ子)

○記者樣拙い作を貰い誌上におのせ下さいまして有りがたうございます上田かつ子樣齋藤みさを樣おやさしい玉章うれしく拜見いたしました(福島縣　齋藤保)

○同郡の田岡樣四月號でおやさしいお言葉有難く存じます、何とぞ末永くお交りを、高木樣貴女こそお振ひ下さい(香川縣　石川もと下)

○記者樣私は昨年の八月よりの讀者ですどうぞお導き下さいませ(長崎縣西彼杵郡　島田靜子)

○記者樣始め誌友のお姉樣お變りはありませんか、私も昨年の十月から御誌の愛讀者ですよろしく(香川縣三豐郡和田村　和田とくゑ)

○私の村でも本年三月九日發會式がありまして二百二十三名の會員が出來ました、(群馬縣佐波郡島之鄕村　柳岡いく子)

○春の肪れの遲い東北にも春風がふくやうになりました、これから養蠶で忙がしくなります(福島縣　土田とみ子)

○不安を抱いて投書しましたのに和歌欄の片隅に我名を見出した時、ほんとに嬉しうございました(群馬縣　榮子)

○宮城の二階堂樣、卒岐樣、群馬の對比地樣、滋賀の中川樣、山陰の一隅よりお慕ひしてゐます、隣村の松本つぼみ樣角みち子樣おさしつかへなくば御交りを(鳥取縣　門脇みつ子)

○九度山町の喜多富美子樣どうかよろしく、隅田の八幡樣にでもお參りの節には道すぢですから、どうかお立ち寄り下さい(隅田村　石井えい子)

○私は現在の淋しい生活も、苦しみも決して歎きません、すべて與へられた運命(さだめ)です、その苦しみのうちにあつて努力する時は力强い幸福があたへらるゝと信じまして……(北海道十勝國札内　早苗薫花子)

○記者樣初め誌友の皆樣御變り御座いませんか北海道山本かめの子御地にはまだ雪がありますの、四月號を見て、お慕しくなりましたお便り下さい(福島縣猪苗代町　八田綾子)

○記者樣初め誌友の皆樣お變りありませんか、甲州の田舍に住む一處女です、記者樣及び誌友の皆樣よろしくお導き下さい(山梨縣中巨摩郡四條村　淸水たかゑ)

○記者樣誌友の諸姉樣お變りおりませんか私達は一月號より御誌の愛讀者になりました故宜しくお導き下さいませ(山梨縣巨摩郡增穗村大久保處女會員一同)

○私は昨年二月號より御誌の愛讀者となつた者でございます、記者樣初め、皆樣よろしくお導き下さい(福島　若葉)

○私は處女の友を愛讀いたし、强く優しく眞面目に働かうと決心致しました、誌友の皆樣不束者ですが何卒お導き下さいませ(島根縣簸川郡灘分村　長岡まつよ)

○春―その名がたまらなくなつかしく思はれます、あの美しいすみれも咲きませう、つくしも出ませう、その自然の花園でみんなで野の幸を欲ふじやありませんか(福島縣大沼郡眞部巴)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

編輯だより

〇「草刈りの袖より出たる螢哉」そろそろ螢が玉とすむ里の川邊にフワリフワリと飛ぶ頃となりました水田には蛙もないてきました、農家の働き時は目前に迫つて居ます。皆さん丈夫な身體で働いて下さいお國のためです。

〇編輯部でも皆さんにまけないやうに働いて居ます、そして少しでも多く皆さんに貢献する處があるやうにといのりつゝ。

〇埼玉間の山中淺一郎様、福岡縣の古賀益城様は熱心に處女會のためにおつくし下さいます。

〇近頃は皆さんが熱心に投書して下さいますので編輯の机上は山のやうで月々に賑やかになつて行きます。誠によろこばしい事で皆さんの向上發展のため、もつともつと編輯部が忙がしくなつてもよいと思ひます、然し編輯部で御住所やお名前のわからないのはほんとに困ります、どうぞ編輯部にだけ住所とお名前をお知らせ下さい。

〇栃木縣長澤すみ子さん、神奈川縣柴田安子さん、小澤ひろ子さん御住所をお知らせ下さい。

〇工夫文は皆よく出來て居ましたが紙面の都合で極く少ししか揭載出來なかつたのは誠に殘念でした。

〇投稿の規定をよく御覽になつてどしどし投書して下さい、そしてなるべく規定にはづれた事をしないやうにして下さい。

四月號考へ物解答

四月號考へ物は「針」が正解です。抽籤の結果左の方々に當りました。

香川縣柴田たつ子、福島縣橋本津木子、岐阜縣秋田賀子、山形縣曾かつよ、埼玉縣會田かれ子、静岡縣早川とも子、朝鮮晉森しづ子、島根縣土江富子、愛知縣清水村子、北海道細谷キクエ、山梨縣志村榮、山口縣三宅リウ子、群馬縣大島とめ子愛知縣伊藤松尾、東京府柴田ふよ子、千葉縣鵜澤えい子、香川縣和田とくゑ、福島縣齋藤いち子、岐阜縣林チヨ子、岐阜縣酒井田しの子、愛媛縣宇都宮正、宮城縣富塚ときわ、栃木縣田崎まつ子、神奈川縣山口あい子、靜岡縣池田ふみ子、岩手縣菊地紫子、福島縣上野ふぢ子、長野縣前島梢、福島縣土屋しの子、京都府吉岡孝、東京府岸澤たま山梨縣小林たけの、熊本縣前田ろみ、群馬縣北詰つま子、福井縣澤はな子、長野縣今井ヒサエ、山口縣西村初枝、東京府山本ヤヱ子、福島縣涌井キミ子、香川縣香西こゆき、岐阜縣今瀨すぎを、高知縣尾立澄子、茨城縣上野澄子、神奈川縣若林たまの、鳥取縣築谷あや子、兵庫縣仲井芳枝、長崎縣島田靜子、愛知縣松山かれ子、東京府矢口文子靜岡縣諏訪部りん

考へ物新題

新題「少將に進むには〇〇〇〇〇」

この〇印の處へ假名で海に住む魚の名二つを入れて下さい。

締切五月十日迄に、本鄕區元町二ノ六六處女の友處行所宛のこと、答はハガキ若くは同じ大きさの原紙、

毎月一回一日發行

定價表

冊數	定價	郵税
一冊	拾八錢	五厘
六冊	壹圓八錢	不要
十二冊	貳圓	不要

註文規定

〇註文はすべて前金のこと
〇送金は振替が便利で安全ゆへなるべくこれによられたし
〇郵券代用は必らず一割增のこと
〇前金切の時は帶封に「前金切」と印しおくゆへ直に送金せられたし
〇送金のときは第何月號より第何月號迄と明記せられたし

大正十年四月廿七日印刷
大正十年五月一日發行

編輯人 天野藤男
東京市本鄕區元町二ノ六六

發行人 田所柚猪
東京市神田區小川町三十六

印刷所 成巧社印刷所
東京市麴町區紀尾井町三番地

處女會中央部

發行所
東京市本鄕區元町二ノ六六
處女の友發行所
振替東京六一一九〇番
電話小石川四三八四番

大賣捌 東京堂、北隆館、至誠堂其他

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

○御註文の節は　處女の友　の廣告に據る旨御書添へを乞ふ○

創刊十六年 地方振興
民力涵養の機關

斯民

五月號

定價 一部 卅錢 一年三圓六十錢

全國町村長會通報機關!!

□地方財政の現況と其對策……田中廣太郎
□改造期の教育……赤司局長
□自治の時代化……松井茂
□社會局の新事業……田子一民
□優良町村事績 誌上展覽會（優良町村長の抱負と其事績）
□米國都市の理事制度……山田敏一
□地方の美事善行……村田宇一郎
□社會奉仕と人格……小原知事
□小學教員に對する希望……永田秀次郎

△北海道、東北(六縣)新潟、岐阜、山口 各府縣の會員諸君には特に地方版を配布す

増補八版
山崎延吉先生著

婦人の覺醒

附表 女房の善惡競

定價三十錢 送料二錢

内務書記官 田子一民先生著

米國に於けるアルコール戰

（三版） 定價金參拾錢 送料二錢

發行所 東京市赤坂區溜池町三十一 中央報德會 振替東京九七〇〇

〇御註文の節は 處女の友 の廣告に據る旨御書添へを乞ふ〇

青年圖書

大久保四州著（第十四版）

青年訓話 軍神乃木

乃木將軍の感化の力の偉大なる事は本書が日に新に熱狂的大歡迎を受くるによりても知らる。

定價五拾錢＝送料四錢

月刊雜誌 帝國青年

青年の好伴侶▲指導者の研究舞臺▲修養研究向上娛樂▲青年團の連絡▲▲定價一部二十錢送料一錢▲半年分一圓廿錢▲一年分二圓三十錢稅共

青年團中央部編纂
第四回青年團講習會講習錄

新時代の青年團

新時代に處して青年團體を如何に指導すべきかの問題は二十有餘大家の權威ある講演に依り解決さる

定價一圓五十錢＝送料六錢

青年團員手牒

定價十二錢＝送料三部迄二錢

今や日本全國の青年團は益々結束を堅うして團員相互の連絡を圖り互ひに激勵修養する爲に團員各自に『青年團員手牒』を所持せしむ而して本手牒は當に天下を風靡しつゝあり。

帝國青年の歌

定價五錢＝送料九部迄二錢

緬羊の飼ひ方

定價六十五錢＝送料四錢

東京市赤坂區溜池町三十一
帝國青年發行所
振替口座東京二一一六八番

親友

毎月一日發行　定價一部金拾五錢　送料五厘　一年壹圓七拾錢

主幹　内務省囑託　天野藤男

時勢の要求急なるにも拘らず其の實現の遲きを憂れ且は嘆ずる事熱烈なる覺醒しつゝある吾人青年等は從來相互ひに修養、向上、改善等を熱叫し合ひ各自の爲に資しつゝありし本誌をして茲に若き異性同士の精神的交友の無二の親友たるを本分とせしむ。來たれ！　意氣に富む女性よ！　處女と青年との提携の完成に資せ

〔投稿に懸賞〕

見本請求五厘切手二十枚封入の事（其月號切の際は次號送る）

床次内務大臣題字　中橋文部大臣題字　田子内務書記官序　乘杉文部事務官序　天野藤男　同　清子　著　定價上製金參圓　並製金貳圓五十錢

忽再版

改造と向上　青年と處女の叫

傳襲に囚へられたるものは改造の空氣を吸ふ能はず向上の道を進み得ざるべし、本書は青年及處女の大膽なる赤裸々の告白を錄し、以て相互に傳襲を捨てしめ、青年と處女とに改造と向上とのヒントを與へんとしたるもの地方青年會並處女會の讀物として必要缺く可らざる好著であり、青年男女の修養書として推奬す。

近刊

都に憧れて

内務省囑託　處女會理事　天野藤男先生著

定價金壹圓　送料共　寫眞數葉洋裝函入顏美本

花の帝都に憧憬れて住み馴れしふるさとをあとに向不見に家を飛出して上京せるお房お君の活ける事實を中心に天野先生が心血を注がれた小説で文部省の生活改善展覽會に是を活動寫眞にて發表し、又内務省に於ても推賞し全國到る處に宣傳しつゝあり青年處女の修養書として推奬する良書である。

發行所　振替東京四二一四一四番　東京神田區美土代町三　親愛社

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

○御註文の節は 處女の友 の廣告に據る旨御書添へを乞ふ○

新學期開始

かな專習講義錄

總裁 小野鵞堂

顧問 尾上柴舟 岡山高蔭

會長 神郡晩秋

會監 丹羽歸雲

内容見本 申込次第 無代進呈

東京四谷左門町十 大日本かな專習會

六ヶ月卒業

内務省囑託 天野藤男著

親愛なる農村青年へ

定價八十錢 送料六錢

好評嘖々既に十二版を重ぬ地方青年にとりては唯一の指針盤たり敢て之を奨む

東京市本郷元町 丙辰出版社

振替東京三三三〇〇番

賜 天覽 台覽

天野藤男著 内務文部兩大臣其他序

指導經營 研究實績

青年團處女會

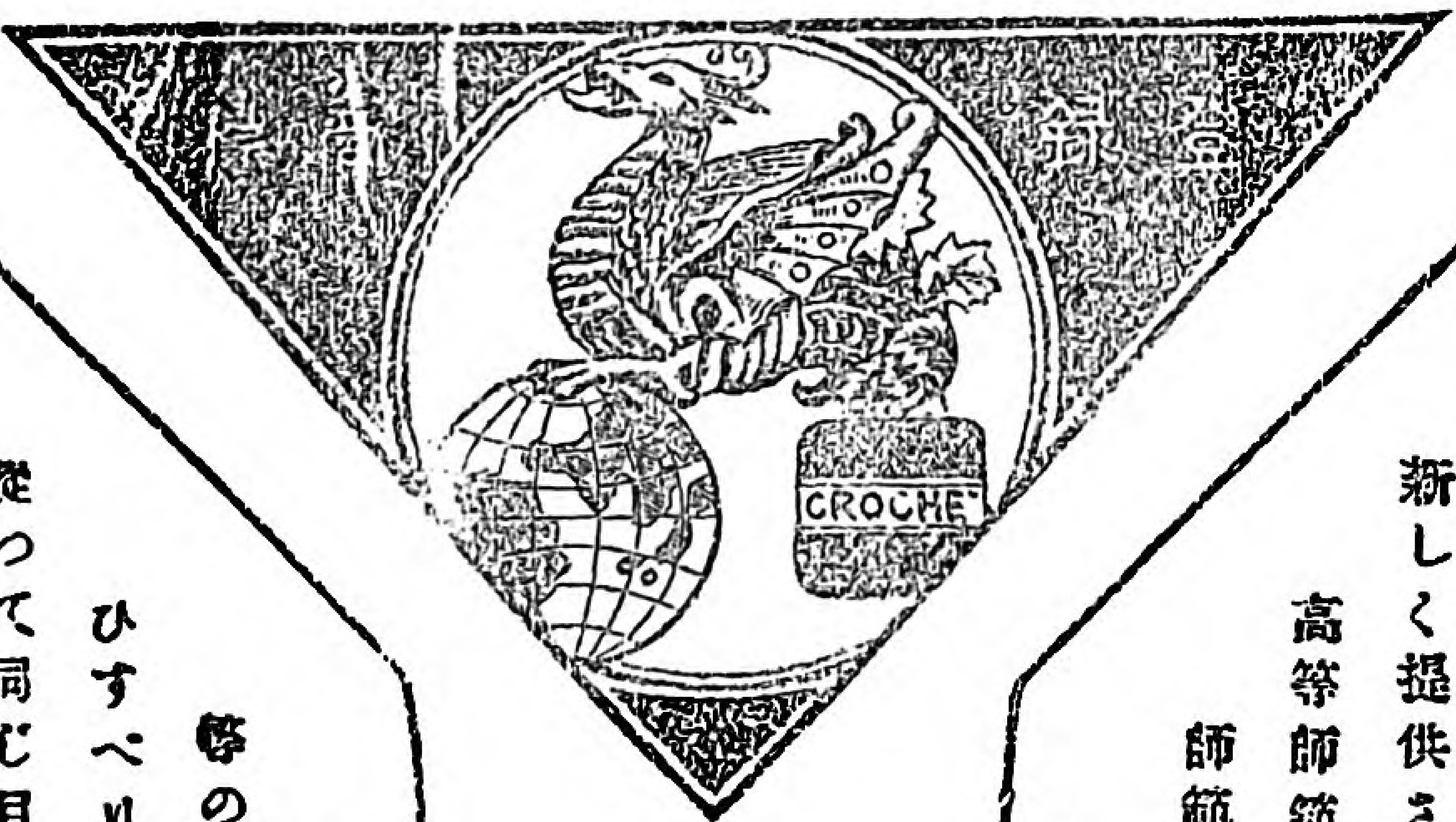
定價二圓五十錢 送料十二錢

◎好評六版◎

一著者が多年の苦心になれる著述にして青年會處女會の好參考書一

東京本郷元町二丁目 振替東京三三三〇〇番

丙辰出版社



何もかもが改造されて參りましたのに、御家庭用品の中でも大切な縫糸が、古い時代の姑息の品で、お間に合ふ筈はありません。皆樣の御要求により十分研究を重ねて、新しく提供された、殆ど理想に近い此のキリン縫糸をお試み下さい。東京女子高等師範學校、共立女子職業學校、戸板渡邊、和洋各裁縫女學校、全國女子師範高等女學校、三越吳服店、白木屋吳服店を始め斯道の大家、實際家の御證明、御推賞を頂き多々御用命を承つて居りますのも此の

新しく出來た キリン縫糸

が、從來の糸に比して非常に優れた點を持つて居るからです。上等の綿で紡いでありますから引が強く、瓦斯燒シルケット掛ですから縫ひすべりが非常によく、細さも丁度使ひ加減で絹小町の代りにもなります。從つて同じ目方で從來の糸よりも三割五分は長くなつてゐます。一方販賣にも多くの人手を用さず直接皆樣にお願ひするのですから旁々非常に割安になつて居ます。四時折々の御贈答品として品質の良い包裝の瀟洒なキリン縫糸をおすゝめ致します

東亞綿絲工業株式會社

東京市日本橋區堀江町

一(三越●白木●其他有名吳服店●雜貨店等にあり)一

○御註文の節は 處女の友 の廣告に據る旨御書添へを乞ふ○

三越の五月

- 五月人形陳列會(四日まで)
- 夏丸帶陳列(一日より)
- 古名畫複本展覽會(二日より)
- 下萠會繪畫展覽會(八日より)
- 御召と小紋陳列(十二日より)
- 挿花器陳列(同)
- 中形浴衣地陳列(十七日より)
- 團扇、扇子陳列(二十日より)

定休日 十日 二十五日

三越呉服店

東京駿河町

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

大正七年十二月二十五日第三種郵便物認可
大正十年四月二十七日印刷納本
大正十年五月一日發行（毎月一回一日發行）

一部定價　金十八錢

處女會中央部

東京市本郷區元町二ノ六六
處女之友發行所

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN